

OPEN CAMPUS 2025



実施内容



大学紹介

本学での学びの特徴、大切にしていること、どんな学生を求めているかをお伝えします。



模擬授業・体験授業

模擬授業が体験ができます。内容は実施日ごとで変わります。大学での授業の雰囲気を感じてください。



学科・専攻説明

学科の教員より、特色や魅力、資格や就職についてご説明します。



個別相談

入試相談、奨学金、資格取得、就職サポートや一人暮らし相談まで様々な疑問にお答えします。学生相談も可能です。



入試説明

募集要項や入試ガイドを用いて、今年度の入試区分や内容を詳しくご説明します。



キャンパスツアー

学生スタッフが学内をご案内し、施設をめぐります。実習で使う設備もご覧いただけます。

オープンキャンパス

4/27(日) 5/11(日) ★5/25(日) ★6/8(日) ★6/22(日)
7/13(日) 7/21(月・祝) 8/9(土) 8/24(日) 9/21(日)

日程

大学・進路説明会

11/1(土) 11/2(日) 11/23(日)

※岩槻キャンパスのみ

※蓮田キャンパスのみ

※学科紹介、入試説明、個別相談、11/23はキャンパス見学(実習室体験)も開催

新2・3年生対象イベント

春の大学・進路説明会 2026/2/22(日) 2/23(月・祝) 春のオープンキャンパス 3/22(日)

学校法人早稲田医療学園 人間総合科学大学

人間科学部

- 健康栄養学科
- ヘルスフードサイエンス学科(食品健康科学)
- 心身健康科学科(通信教育課程)

保健医療学部

- 看護学科
- リハビリテーション学科 理学療法学専攻
- リハビリテーション学科 義肢装具学専攻

2026年4月開設準備中
心身健康科学科(通学課程・設置認可申請中)

2026 看護・リハビリ 食・栄養



University of Human Arts and Sciences

学校法人 早稲田医療学園
人間総合科学大学

公式サイト <https://www.human.ac.jp/>
メール admin@human.ac.jp
アドミッションセンター 048-749-6111



オープンキャンパスの
詳細やお申込みは
こちらよりご確認ください
<https://www.human.ac.jp/ad/event/opencampus/>



人間総合科学大学は、文部科学大臣の認証を受けた「財団法人日本高等教育評価機構」により、令和4年度大学機関別認証評価を受審し、同機構が定める大学評価基準を満たしていることを「認定」されました。



右手にライセンス、左手に生きる力。

人間総合科学大学では、「こころ」と「からだ」の関連性を理解する学びを展開。

日々変化し続ける世の中を生き抜くために必要な、強さと人間力を養います。

また、食・栄養・医療の現場で専門職として必要な資格取得もサポートします。



INDEX

- | | | | |
|----|------------------------|----|---------------------|
| 01 | 右手にライセンス、左手に生きる力 | 21 | 人間科学部INDEX |
| 02 | UHAS学生インタビュー | 22 | 健康栄養学科 |
| 04 | 建学の精神/理事長・学長メッセージ/ポリシー | 26 | ヘルスフードサイエンス学科 |
| 05 | 沿革・組織 | 30 | 心身健康学科 |
| 06 | 人間力を養うコア科目 | 34 | 岩槻キャンパス |
| 08 | LTD学修(グループ学修) | 37 | 保健医療学部INDEX |
| 10 | コラボレーション | 38 | 看護学科 |
| 12 | 初年次教育/キャリアサポート | 42 | リハビリテーション学科 理学療法学専攻 |
| 14 | 認定心理士について | 46 | リハビリテーション学科 義肢装具学専攻 |
| 15 | 就職実績 | 50 | 学費/奨学金制度 |
| 16 | 卒業生インタビュー | 52 | 出身高校一覧 |
| 18 | 蓮田キャンパス | 53 | インフォメーション |

UHAS学生インタビュー

—— 人間総合科学大学を志望したきっかけと、特に学びたいと思っていたことを教えてください。

浅野 料理の仕組みや原理を知りたいと思っていたところ、高校の先生に紹介されたのがきっかけです。オープンキャンパスに参加したことでさらに興味が湧き、入学を決意しました。

松澤 心と体のつながりや、目に見えない心の動きを数値化する学びを深められる環境に魅力を感じました。通信制で学べる点も、理由の一つです。(心身健康科学科 通信教育課程)

梅原 チーム医療における多職種連携の学びや、コミュニケーション能力を身につけられると思い、志望しました。災害看護を実践する先生が在籍していることも魅力でした。

小野 少人数制で先生との距離が近いことや、アットホームな環境に魅力を感じました。理学療法士に必要な知識に加え、身体面と精神面の両方から患者さんを支える知識も学びたいと考えていました。

—— 社会で求められる「生きる力」について、あなたの考えと、大切にしていることを教えてください。

高見澤 社会づくりに参画できる力と、他者とコミュニケーションがとれる力です。特に、協調性を持って行動することは不可欠だと考えています。

浅野 コミュニケーション能力や、協調性、そして感謝の心が大切だと思います。特に、人ととのつながりを大切にすることは、最も重要なことだと感じています。

松澤 変化への適応力を持ちながら、心身ともに健康を維持できることだと思っています。中でも、心身のストレスに適切に対

処することが、大きな成長につながると考えています。

梅原 看護師にとって重要なのは、何事にも全力投球することだと思います。医療現場では一瞬の判断が患者の命を左右するため、常に最善を尽くすことが求められます。また、現状に満足せず常に学び続けることも大切だと感じています。

小野 人間関係を円滑に築く力です。誰とでも平等に接することは、社会生活を送る上で重要だと思います。

瀧 挨拶や気配りができるほどだと思います。特に、優しさが当たり前にならない程度に人と距離を取ることで、良好な関係を維持し、自身の負担も軽減できると考えています。

人間総合科学大学では、日々変化し続ける世の中を生き抜くために必要な流されない強さと、どんな状況でもしなやかに対応できる人間力を養います。大学生活を通して身につける生きる力について、学科それぞれの視点から語ってもらいました。

エピソードを教えてください。

高見澤 以前は、自分の気持ちや考えを他人に伝えることをためらっていましたが、グループワークを通して、積極的に発言できるようになりました。

浅野 入学当初は、自分と合わないと感じる人や、苦手なことを避けていました。しかし、逃げていては何も変わらないと気づき、解決策を探すように。その結果、困難な状況に適応できる力が身についたと感じています。

梅原 看護師を目指し、座学で得た知識と技能を実習で実践する際に、自身の成長を実感しています。

小野 実習で、バイザーの方との考え方の違いに戸惑いを感じたことがあります。しかし、さまざまな視点や考え方があることを改めて認識し、自分と異なる意見にも耳を傾けるように努めました。

—— 大学生活を通して得た「生きる力」を使って、将来はどのようなことに挑戦したいですか？

松澤 大学生活を通して自身の内面と向き合い、自己理解を深めることができました。将来は心理アドバイザーやカウンセラー、医療機関の看護助手などの仕事に挑戦したいです。

梅原 看護師になった後も現状に満足することなく、常に学び続けていきたいです。医療従事者が足りない今だからこそ、臨床で貢献できる看護師を目指したいです。

瀧 周囲の人々と良好な人間関係を築き、大学で身についた知識や技術で困っている人を支え、必要とされる存在になりたいと思います。

生きる

力とは

—— 「生きる力」を身につけるために、大学でどのようなことに取り組んでいますか？

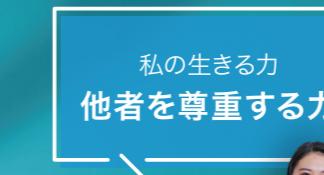
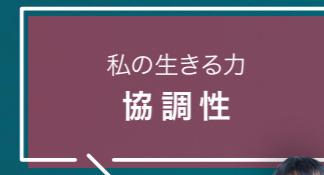
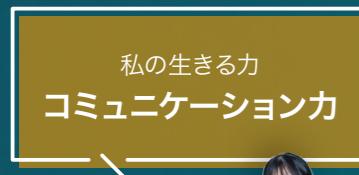
高見澤 お互いの考えや気持ちを共有することで、理解を深めることを大切にしています。グループ学修やグループ活動を通して、実践的なコミュニケーション力を磨いています。

浅野 相手の気持ちを尊重しながらも、自分の意見を適切に伝えることを心がけています。また、グループワークや大学の委員会活動などに積極的に参加することで、実践的な経験を積

みています。また、ボランティア活動を通じて医療系以外の人たちとも交流し、視野を広げています。

瀧 私は、周囲の人々を注意深く観察し、必要に応じて適切な手助けができるよう意識しています。また、専門分野以外の学習も重要であるというアドバイスを受け、視野を広げています。

—— 大学生活の中で、あなたの「生きる力」が成長したと思う



人間科学部
健康栄養学科 3年
高見澤 菜々さん

人間科学部
ヘルスフードサイエンス学科 2年
浅野 凌多さん

人間科学部
心身健康科学科
(通信教育課程) 2年
松澤 莉さん

保健医療学部
リハビリテーション学科
理学療法学専攻 4年
小野 郁弥さん

保健医療学部
リハビリテーション学科
義肢装具学専攻 4年
瀧 路維さん



建学の精神

人は、心と身体が相関しており、社会的生き物である。
しかも、有史以来、進化発展を続けています。
21世紀を力強く生きるために、新しい展望と視座に立って、
一人一人がしっかりした価値観を持ち、
未来を切り拓く自己決定能力と勇気を持たなければならない。
ここに、人間を「こころ」「からだ」「環境・社会」の面から追求し、
学際的に総合して科学的に探究する必要がある。
人間総合科学大学を創設し、あらたな学問の追求と統合により、
真に人間を理解し、自立と共生の心を培い、
活力あふれる創造性と豊かな人間性を育む。

学校法人 早稲田医療学園 理事長
人間総合科学大学 学長
久住 真理

1993年に早稲田医療技術専門学校を設立、2000年に人間総合科学大学を創立。主な著書に「新時代の"学び"考」、「心身健康科学」、「Health Sciences of Mind and Body」、「CLINICAL ACUPUNCTURE」、「運命を変える 心とからだの磨き方」、「ヒューマン-私たち人類の壮大な物語」ほか。医学博士 臨床心理学修士。

理事長・学長メッセージ

学びこそ、皆さんの未来の成長を支える

自らが向上したいと積極的に取り組む意志や本能的に自分の可能性を高めようとする自己実現への欲求は、人間が生物的に本来持っている「自己教育力」にあると、教育者として常に考えてきました。大学での「学び」では2つの力を十分に発揮させることが大切です。一つは、人が生まれたのちに環境の中で得た意志、もう一つは、生物として何億年もかけて遺伝子の中に組み込まれている「よきに変化させよう」「よきに伸びよう」という内在的な力です。そのために、本学では、心身ともに、たくましく生きるための「自己教育力」を育てる「学び」を重視しています。ぜひ未来に希望を持って、医療人や専門職者として「右手にライセンス」「左手に生きる力」を手にしてください。

人間総合科学大学のポリシー

Admission Policy

アドミッション・ポリシー (入学者受け入れの方針)

人間総合科学大学は、教育の目的に理解と共感を持ち、次のような資質を有した人材を受け入れる。

- 専門的知識・技能の修得に積極的に取り組むことができる人
- 健康や医療に関する職業等を通じて主体的に社会的課題の解決に努力できる人
- 自身の将来に対する目標を持ち、他者と協働しながら、多様な学修経験を通じて成長できる人
- 人間に關する様々な事象に關心を持ち、総合的、科学的に理解を深めることに努力できる人

Curriculum Policy

カリキュラム・ポリシー (教育課程編成・実施の方針)

人間総合科学大学は、次の方針に基づいて教育課程を編成する。

- 専門的知識・技能と物事に対する幅広い視点や理解を得る
- 人間に係る科学を学際的に統合し、人間の総合的理義、心身の相関性の理解を現代社会に応用できる能力を得る
- 様々な専門知識を統合し、自身や社会、職業上の問題關心と関連付けて問題解決を図る能力を得る
- 多様な学修経験・方法を通じて、専門的職業人および社会の一員として、自立と共生のこころを培う
- 現代社会、企業で活かすことのできる、AI・データサイエンスの基礎力(リテラシーレベル)を得る

Diploma Policy

ディプロマ・ポリシー (学位授与の方針)

人間総合科学大学は、建学の精神・教育理念に基づき、科学的能力と実践的能力を統合し、以下のような能力と資質を身につけ、所定の単位を修得した学生に対して、卒業を認定し、学位を授与する。

- 全学共通のコア科目を通じたリベラルアーツ教育
 - 現実社会を「よりよく生きる」ための、洞察力、共感力、創造力、表現力、自己教育力、生涯学ぼうとする意欲、豊かな人間性
 - 社会からの「自立」と他者との「共生」に必要な社会的責任感、異文化理解、情報処理力、自己実現力、他者への思いやり、コミュニケーション力などの資質
- 専攻する学部・学科の専門科目を通じた医療・健康・食・栄養の専門職教育
 - 専門職としての、専門的な知識・技能を体系的に修得
 - 社会貢献に必要な、問題解決能力、チームワーク力、リーダーシップ能力、プレゼンテーション能力、AI・データサイエンス(リテラシーレベル)の基礎力

沿革

1953	東京カイロプラクティック学院の創設 <開設学科> ●本科 ●師範科	
1972	早稲田鍼灸専門学校に改称 <開設学科> ●東洋医療鍼灸学科	
1990	早稲田医療専門学校に改称 1991年4月 義肢装具学科を開設し、2003年 早稲田医療技術専門学校へ移転	
1993	早稲田医療技術専門学校を開学 チーム医療を担う人材の育成 <開設学科> ●看護学科 ●理学療法学科 ●作業療法学科 ●義肢装具学科(2003年~)	
2000	人間総合科学大学を開学 人間科学部 人間科学科(現:心身健康科学科)を開設	
2004	人間総合科学大学大学院を開設 人間総合科学研究科 心身健康科学専攻 修士課程を開設	
2005	人間総合科学大学 人間科学部 健康栄養学科を開設	
2007	人間総合科学大学大学院 人間総合科学研究科 心身健康科学専攻 博士後期課程を開設 早稲田医療技術専門学校 保健学科を開設	
2009	早稲田医療専門学校を人間総合科学大学鍼灸医療専門学校に校名改称(2017年3月閉鎖) 人間総合科学大学大学院 人間総合科学研究科 健康栄養科学専攻 修士課程を開設	
2011	人間総合科学大学 保健医療学部 看護学科、リハビリテーション学科(理学療法学専攻/義肢装具学専攻)を開設	
2013	学園創立60周年	
2016	人間総合科学大学大学院 人間総合科学研究科 臨床心理学専攻 修士課程を開設(2022年3月閉鎖)	
2017	人間総合科学大学 人間科学部 ヘルスフードサイエンス学科を開設	
2023	学園創立70周年	

組織

21世紀の健康社会に幅広く活躍する人材育成をめざす「早稲田医療学園」

人間総合科学大学

蓮田キャンパス 人間科学部

- 健康栄養学科
- ヘルスフードサイエンス学科
- 心身健康科学科(通学課程【認可申請中】)
- 心身健康科学科(通信教育課程)

岩槻キャンパス 保健医療学部

- 看護学科
- リハビリテーション学科理学療法学専攻
- リハビリテーション学科義肢装具学専攻

人間総合科学大学大学院

人間総合科学研究科

- 心身健康科学専攻(通信制)
 - 修士課程
 - 博士後期課程
- 健康栄養科学専攻
- 修士課程

早稲田医療技術専門学校

保健学科

日本心身健康科学会

人間総合科学 心身健康科学研究所



事業提携校

●東京健康科学大学ベトナム



海外提携校

【アメリカ】

- カリフォルニア州立大学 ロングビーチ校
- マヒドン大学
- ハンズオン医療技術大学

【タイ】

- マヒドン大学
- ハンズオン医療技術大学

- ベトナム

国際研修について

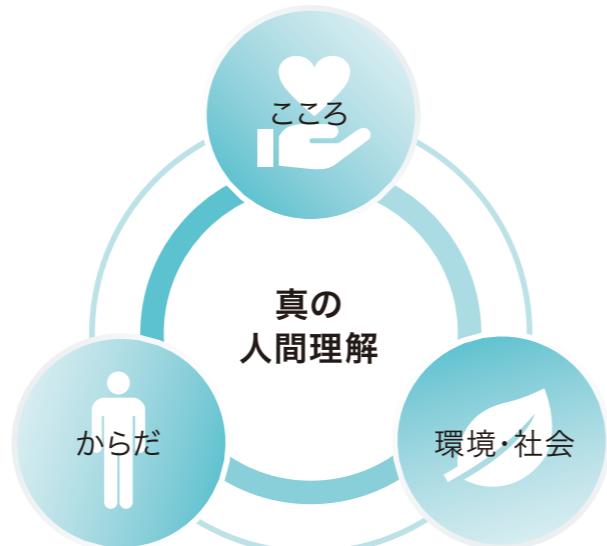
医療専門職を目指す学生としてグローバルな視野をもち、自身の将来を広く展開できるようになるためのプログラムとして「国際研修」があります。東京健康科学大学ベトナムをはじめとし、本学の提携校のある国において、医療サービス制度や専門教育などに加え、文化や風土を学ぶことにより国際人としての素養を身につけます。





なにを理解すれば、 人間を理解したことになるの？

「こころ」について学んだだけでは人間を理解したことにはなりません。「からだ」について学んだだけでも人間を理解したことにはなりません。人間を取り巻く「環境・社会」について学んだだけでもやはり人間を理解したことにはなりません。なぜなら人間は「こころ」「からだ」「環境・社会」の結びつきの中で生きているからです。本当に人間を理解するには「こころ」「からだ」「環境・社会」の相関関係に目を向けて学ぶ必要があるのです。



コア科目_01 ヒューマン

人間を「こころ」「からだ」「環境・社会」の相関関係から、科学的・学際的に探究する「人間総合科学」の本質を学ぶように、生命誕生から未来社会の人類の存在まで様々な課題があることを把握し、人間・生命の本質の統合理解をもとに、各自が「よりよく生きるための知恵」を育むことを目指した科目です。

こんな力が身につく

- 人間を多面的に捉えようとする視点
- 心身の健康は「こころ」「からだ」「環境・社会」と密接に関わっていることの理解



コア科目_02 心身健康科学

心身健康科学とは、「こころ」と「からだ」の健康に関わる心身相関の仕組み、人間の生涯のライフサイクル、健康寿命など、人間の健康の科学的基盤を探求する学問です。心身健康科学の基礎を学び、各自の専門分野にどのように生かしていくかを学ぶための科目で、最終講義では各専門職における心身健康科学の重要性や心身健康科学の応用についてLTD学修(P.8参照)を通して理解を深めます。

こんな力が身につく

- 心身相関の科学的仕組みの理解と専門分野に応用できる視点
- ストレスが心身に及ぼす影響の理解



副学長
小岩 信義 教授



副学長
鈴木 はる江 教授



副学長
浅野 和仁 教授

ここでしか出会えない知恵— 本学独自の「ヒューマン」が築く未来

資格取得に必要な専門知識やスキルを超え、人間そのものを深く学ぶ—それが本学独自の学問「ヒューマン」です。私たちの身体に刻まれた進化の歴史や「いのち」の本質に、最新科学を通じて迫ります。医療・栄養の現場で直面する「生老病死」は、知識やスキルだけでは解決できない課題を伴います。「ヒューマン」では、700万年の人類進化が刻んだ「いのち」の謎と仕組みを探究し、それが皆さんの未来の心の支えとなり、困難を乗り越える知恵と力へつながるでしょう。

「こころ」と「からだ」の相互作用を 理解して健康維持に

人間は発達した脳を持ち、知性や感情や意志など複雑な精神活動「こころ」を営みつつ、日々活動しています。心配事が重なると体調不良になり、体調不良から気分が落ち込んだり、逆に楽しいと体調良好で、身体を動かすと気分が晴れやかになります。こうした「こころ」と「からだ」が相互に影響し合うことを「心身相関」といいます。この仕組みを理解して、健康的な生活を営む「生きる知恵」を養っていきます。

人間性を理解した優れた医療・ 栄養の専門家を目指して

本学で養成している医療や栄養の専門家になるためには深い知識、技術のみならず、適切な態度をも身につける必要があります。この適切な態度を養う第一歩は人間の本質を深く理解することから始まります。本学では「ヒューマン」、「心身健康科学」という独自の特別な科目を開講し、「こころ」、「からだ」、「環境・社会」の面から人間の本質を理解するための学びを提供しています。これらの学びから適切な態度、すなわち「心を養い」、優れた医療や栄養の専門家として成長してくれることを望みます。



Knowledge for well-being

よりよく生きるために知恵の創出

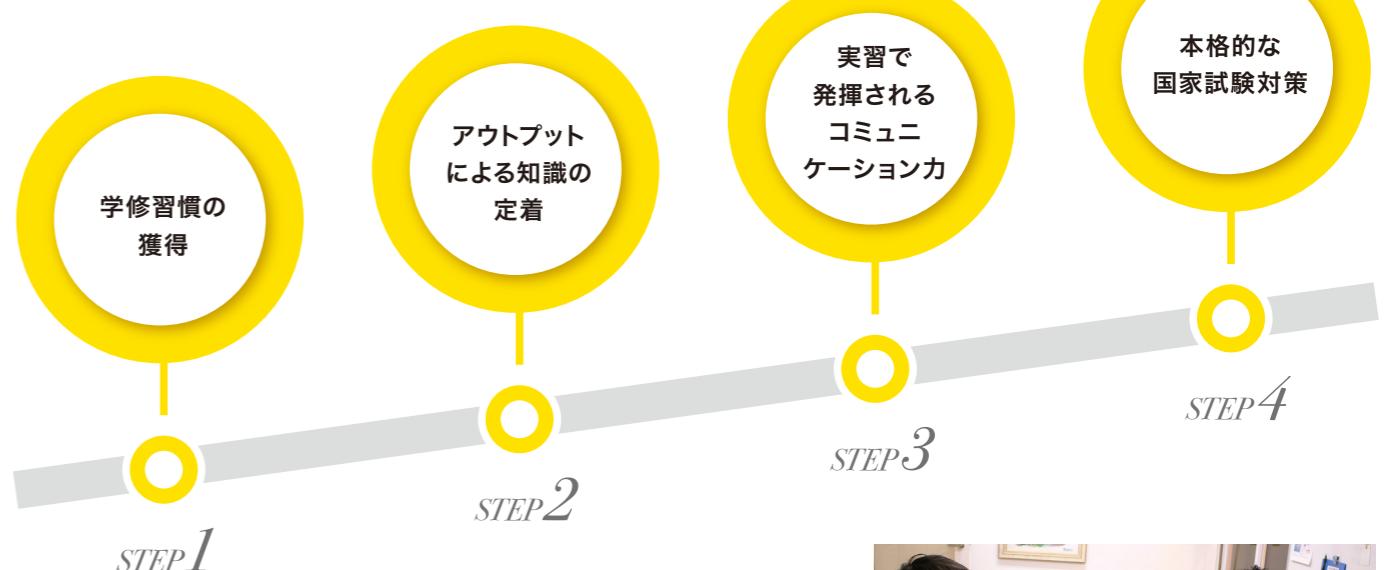
記憶の三原則に沿った 最も効率の良い学修方法

LTD(Learning Through Discussion)学修とはチームで話し合いを通して学ぶ学修方法です。他者からの説明で「あっそういうことか!」と理解(「記録」)し、理解したことや覚えたことをLTDで友人に説明することにより、「想起」(思い出す)の訓練になって、記憶に「保存」されます。国家試験での想起、臨床現場での想起に繋げることができます。

また、LTD学修を通してコミュニケーション力向上をはかり、将来各職種のプロとして患者さん等に専門用語を分かりやすい言葉に変換して説明ができる能力を身につけていきます。



初年度学修から国試対策まで 着実にステップアップする学習メソッド



プロフェッショナルとは自分の専門領域について分かりやすく説明できる人です。国家試験に合格したからといって突然分かりやすい説明ができるようになるわけではありません。その訓練は1年生から必要になります。また、同じ目標に向かって新しい知識を友人と一緒に身につけていくことにより、学修すること=楽しいこととなり、笑いながら覚えたことが記憶に保存されていくという好循環になっていきます。



数値で見るLTD学修の効果

看護学科の看護師国家試験模擬試験結果(2025年3月卒業生)

4年生4月模試結果

全国 506位/553校中
県内 17位/19校中

4年生1月模試結果

全国 73位/388校中
県内 5位/19校中

国家試験合格率

看護師 96.8%
(全国平均合格率 90.1%)

※人間総合科学大学の国家試験は全員受験(卒業生数=出願者数=受験者数)です。(厚労省 学校別合格状況より)

LTDを通した合格体験記

自信を深め、合格に結びついた。

保健医療学部 看護学科 2025年3月卒業
勝山 想平さん クラーク記念国際高等学校出身



将来は病棟看護師を経て在宅領域で働くことを目指し、看護師・保健師国家試験に向けてLTDを活用しました。一人での勉強は暗記に偏りがちでしたが、友達と状況設定問題について議論したり、疾患の病態や必要な援助について説明し合ったりすることで、深い理解が得られ、知識が定着しました。LTDで出し合った問題が模擬試験に出題されたことで自信につながり、勉強の進捗状況を共有することで弱点克服に役立ちました。また、人に説明する経験を多く積むことができたため、人に伝える力も向上し、将来、病棟で働く上でも役立つと考えています。LTDは単なる暗記にとどまらず、深い理解と実践的な能力を身につける上で非常に役立ちました。

Knowledge for well-being

よりよく生きるためにの知恵の創出

実践的な経験を積む
コラボレーション

メディシェフレシピコンテスト2024 グランプリを受賞!

一般社団法人 日本医食促進協会主催のメディシェフレシピコンテスト2024のテーマは「スポーツ飯」。ヘルスフードサイエンス学科の学生が挑戦し、審査の結果、当時1年生だった長尾 達樹さんが見事グランプリを受賞しました。2025年1月に静岡県のイベントスペース SHIMIZU CROSS(清水クロス)にて授賞式が行われました。

●メディシェフグランプリ(最優秀賞)

ヘルスフードサイエンス学科 2年 長尾 達樹さん
「優勝確定無水ミートボールカレー」



自治体・企業との協働プロジェクト

社会で活躍する人材になるには、理論の理解に加え、実践力が非常に重要です。人間総合科学大学では、様々な企業や自治体とコラボレーションし、メニュー開発や社会問題の解決など学外でも学べるカリキュラムを導入、卒業後のキャリア形成を支援します。



企業との商品開発・協働プロジェクト例

カフェのら

鶏の和風クリーム煮と地産野菜を楽しむプレート



ヘルスフードサイエンス学科がさいたま商工会議所及びさいたま市内飲食・小売店「カフェのら」との産官学連携により「埼玉の野菜紹介」「おいしい健康食」をキーワードにメニュー開発を行いました。地産地消を意識した埼玉県産の野菜をふんだんに盛り込んだプレートメニューです。鶏モモ肉のクリーム煮が美味しいと大人気でした。

トヨタ自動車

「その人らしく生きる」を支える福祉車輌を実車を通して学ぶ



看護学科では、埼玉トヨタ自動車株式会社のご協力により、福祉車輌について学び、実車体験も行っています。福祉車輌は、「病気や障害があつても住み慣れた地域でその人らしく生きる」を支えるための手段として、大きな役割を担っており、学生は「安全・快適」な移動は地域で生活する人々のQOLの向上につながることを学びます。

gelato&pizza ugo

鶏肉と西洋野菜の味噌マヨPIZZA



ヘルスフードサイエンス学科とさいたま商工会議所及びさいたま市内飲食・小売店「gelato&pizza ugo」との産官学連携により、埼玉の西洋野菜を使用した特製ピザが完成しました。実際の店のメニューが並び、トッピングされたヨーロッパ野菜と和風ソースのマリアージュが好評でした。

那須どうぶつ王国

特別天然記念物を守ろう! 国内初! 「ライチョウ」の義足製作



那須どうぶつ王国より依頼があり、ライチョウの「黄雛ちゃん」が怪我により、左脚を切断することを余儀なくされ、リハビリテーション学科義足装具学専攻の教員が義足の製作に関わることになりました。日本では前例がないため、これまでの経験で得た知見や技術を応用し、素材や構造の試行錯誤や研究を重ねて、約2か月をかけて完成しました。

実践力を養成する特別講義、臨地・臨床実習

企業や医療現場からの 外部講師

変化の速度が著しい食や医療の現場に身を置き、日々活躍している外部講師を招いた授業を実施。現場ならではの情報やトレンドなどについて知り、リアルな現場感を養います。



企業でのインターンシップや 病院等での臨地・臨床実習

仕事をしていく上で大切なのは、経験とそれに基づく適切な判断力です。企業や病院等での実習を通して、学生のうちから現場での経験を積むことができます。



初年次教育

初年次教育では、大学生活の基礎となる学修スキルや自己管理能力を育成します。充実したサポートでスムーズなスタートを応援します。

新入生ガイダンス

大学では高校までと違う講義スタイル(板書からスライドへ)や、履修登録・スケジュール管理など学修環境が大きく変化します。大学生活を安心してスムーズにスタートできるようにレクチャーします。



コミュニケーション演習

グループでの意見交換、大勢の前でのスピーチなど、様々な状況に対応できるコミュニケーション能力を身につけます。日常的な場面を設定したロールプレいや共同作業を通して、対人スキルを学ぶ、LTD学修の基礎となる科目です。



ス polek 大会

全学科1年生合同で実施するスポーツを通した交流会です。入学後の友達作りの一環として2024年はドッヂボールとボッチャをみんなで楽しみました。学科間の交流やコミュニケーションを図ることも目的です。



学科ごとの初年次教育(例)

人間科学部

健康栄養学科

健康栄養学科では「コミュニケーション実習」で、各自で作ったピザ生地に好きなようにトッピングし、ピザ釜でピザを焼いて試食します。同級生や教員とコミュニケーションをとり、大学生活の不安を解消し、大学生活をスムーズにスタートできるような取り組みをしています。



ヘルスフードサイエンス学科

ヘルスフードサイエンス学科では、入学前教育の確認テストの結果に応じて必要な学修サポートを行い、担任が早期からの個別面談や授業で学生を支援しています。オリエンテーションやグループワークを通じて、上級生や教員との交流を深め、学園祭では学科の学びを活かしてクラス全体で協力しながら取り組みます。また学生の生活環境や成績状況を把握し、必要に応じて保護者とも連携したサポートを行っています。



保健医療学部

看護学科

看護学科では、1年前期からアカデミックスキルとスチューデントスキルを養成する「大学生入門」を通年で開講しています。2024年度は学生の意見を反映させ、文章作法やプレゼン技法、大学内の教育資源活用法を学ぶ内容を提供しました。さらに、カウンセラーによる心の健康の講義やマナー講師による専門職業人としてのマナー教育も導入。基礎ゼミナールでは小人数でのグループワークを行い、学びを共有する形式で学修を進めています。

リハビリテーション学科 理学療法学専攻

理学療法学専攻では4月中にウォーキングや歓迎会、グループディスカッションを通じて居場所づくりを行うとともに、担任と学生の信頼関係も築きます。授業ではランダムな座席変更やペア学習を取り入れ、多くの仲間と交流する機会を提供。また、新たに、理学療法に関連するテキストを使った学修を導入し、読解力やジェネリックスキルの向上を促しています。



リハビリテーション学科 義肢装具学専攻

初年度には他学年と比較して担任数を増員し、よりきめ細やかな指導が行える体制をとっています。またプレテストや自己評価アンケートで個々の学力や目標を把握し、計算力や文章読解力をホームルームで強化しています。後期には医療課題をテーマにグループで調査・発表を行い、論理的思考力を育成。年間を通じて個別面談を複数回実施し、学生一人ひとりの学修や生活を支援しています。

キャリアサポート

キャリアサポートでは、個別相談や就職支援プログラムを通じて、一人ひとりの目標に寄り添い、希望の進路実現をサポートします。

1年次

- 就職ガイダンス
- 「看護師として働く意義」
- 合同インターンシップ説明会 (参加希望学生対象)
- 就職対策セミナー「マナー講座」
- 就職個別相談・個別指導
- 「コミュニケーション演習」
- 「職業とキャリア形成」
- 「コンピュータ入門」
- 「AI・データ活用リテラシー」

2年次

- 就職ガイダンス「先輩と語ろう！」
- 合同インターンシップ説明会 (参加希望学生対象)
- 就職対策セミナー「マナー講座」
- 就職個別相談・個別指導



3年次

- 就職対策セミナー①「マナー講座」
- 就職対策セミナー②「自己分析・病院研究」
- 就職対策セミナー③「履歴書の書き方・面接対策」
- 就職対策セミナー④「小論文対策」
- 合同企業説明会
- 就職個別相談・個別指導



4年次

- 就職ガイダンス
- 合同就職説明会
- 合同企業説明会
- 履歴書・面接指導(個別)
- 就職個別相談・個別指導



就職をサポート

授業で自己分析

人間の理解を深める授業の数々で他者への理解はもちろん、自分自身とも向き合い、長所や短所などを掘り起こします。その内容はエントリーシートなどに活かすことができます。

外部講師によるセミナー

さまざまな企業や団体から外部講師を招いて、自己分析や企業研究、キャリア形成、面接力の向上など、具体的で就職活動に役立つ知識やスキルを身につけるセミナーを実施します。

面接やディスカッション体験

就職活動において欠かせない面接や、近年多くの企業が選考に取り入れている学生同士のグループディスカッションなどの体験講座を実施し、本番に備えることができます。

資格取得をサポート

授業で試験対策

必修科目に、資格取得のための知識を習得したり、実際に資格を活かす場を体験する実習などが盛り込まれているため、授業を通して合格への積み重ねが可能です。

一人ひとりの達成度を把握

定期的に模擬試験などを実施して、試験慣れするとともに、学生一人ひとりがどのくらい知識を習得できているかを把握。入学前教育から意識付けが始まり、学年ごとの達成度に応じて教員が個別に指導し、合格へと導きます。

効果を発揮するLTD学修

LTDとは、「Learning Through Discussion」の略で、学生同士が話し合いながら、学びを深めていく学修法。相互に影響を与え合うことで、合格率の向上を実現しています。

担任制でサポート

教員との距離が近い

大学では教員と学生の授業以外での関わりは少ないようと思われるかもしれません。しかし、人間総合科学大学は、クラス担任制。高校と同じような距離感で気兼ねなく教員への相談が可能です。

授業以外のことも気軽に相談できるよう

クラス担任制で学生生活をサポートします。

学校カウンセラーへの相談

友人関係、将来への不安などを一人で抱え込まずに話すことができるよう、蓮田・岩槻の両キャンパスにおいて、定期的に学校カウンセラーによる学生相談室を開室しています。

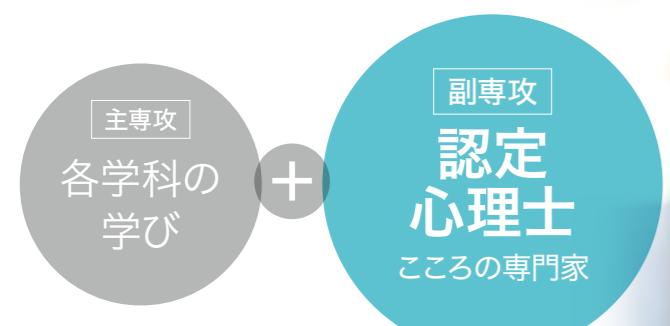
1対1で話せる環境づくり

学内には、学生が教員に対してちょっとした雑談や、授業の疑問点の相談などがしやすいように、テーブルと椅子を置いたコミュニケーションスペースを多く設けています。

全国初!

全学科で副専攻を活用した認定心理士の取得が可能に!

「心身健康科学副専攻プログラム」では、プラスαとなる専門分野として、からだ+こころの関わりを学び、認定心理士の資格取得を目指します。



認定心理士とは?

「心理学の専門家として仕事をするために必要な最小限の標準的基礎学力と技能を習得している」と、公益社団法人日本心理学会が認定する民間資格。本学で指定の科目を履修し、単位を習得した後、日本心理学会に申請することにより認定されます。

無理なく学べるオンライン学修

認定心理士の資格取得に必要な科目は基本的にインターネット授業とオンライン学修で受講できます。課題の提出や定期試験もオンラインで完結します。4つの実験実習科目は対面の集中スクーリングで年に数回開講します。

こころの専門家としての証

認定心理士は就職活動においてエントリーシートに記入できる他、副専攻を修了した証明として大学からオープンバッジ(デジタル証明書)も発行されます。



人と関わる現場で有用となる資格

認定心理士取得を通して、心理学の基礎知識や技能を身につけることにより、患者さんの不安やストレスに対して適切に対応し、心理的な回復を促すことができる医療従事者や、消費者心理を踏まえた食品開発や食空間を創造することができる人材をめざすことができます。

看護学科で
「看護師等養成所専任教員資格」取得に係る
教育に関する科目の履修が可能に!

看護師等養成所専任教員資格とは看護師や保健師、助産師、准看護師を養成する専門学校の専任教員として勤務するための資格です。本学の看護学科で教育に関する4科目を単位修得し、卒業後に看護師・保健師・助産師のいずれか1つの専門分野に3年以上従事することにより、資格を取得することができます。

高い水準を誇る

就職実績

(2025年3月)

健康栄養学科

主な就職先

就職率
93.4%

株式会社スギ薬局、ミール歯科クリニック東小金井、医療法人社団絆尚会尾島デンタルクリニック、医療法人社団翔舞会エムズ歯科クリニック、エームサービス株式会社、シダックス株式会社、株式会社LEOC、コンパスグループ・ジャパン株式会社、日本栄養給食協会、株式会社グリーンハウス、ジャパンウェルネス株式会社、株式会社日本栄養給食協会、独立行政法人埼玉県立病院機構、小山富士見台病院、医療法人社団慈恵会、IMSグループ、社会福祉法人浅草寺病院、株式会社ベストライフ、ラスール草加、ライクキッズ株式会社、アポクリート株式会社、鈴木薬局、アポクリート株式会社、株式会社ピノキオ薬局、アップルケアネット、サエラ薬局、阪南コーポレーション、イオンピック

ヘルスフードサイエンス学科

主な就職先

就職率
100%

山崎製パン株式会社、株式会社ユーハイム、滝沢ハム株式会社、株式会社洋菓子舗ウエスト、くら寿司株式会社、株式会社コメダ、株式会社江東微生物研究所、株式会社やまひろ、株式会社ライフコーポレーション、株式会社サガミホールディングス、株式会社旬彩デリ、株式会社カスミ、タカラ食品工業株式会社、白ハト食品工業株式会社、株式会社デリモ、金鶴食品製菓株式会社、株式会社中央食品工業、株式会社ニッセーデリカ、株式会社つくば食品、株式会社波里、株式会社ウエルシア、株式会社LEOC、株式会社グリーンハウス、株式会社メフォス、株式会社日本給食栄養協会、株式会社ミールケア、ライアカデミー株式会社、にじいろ保育園、株式会社日本保育サービス、株式会社フォーグリーン 他

看護学科

主な就職先

就職率
100%

丸山記念総合病院、秋田大学医学部附属病院、足利赤十字病院、イムス東京葛飾総合病院、春日都市立医療センター、春日部中央総合病院、済生会加須病院、川口市立医療センター、大阪ろうさい病院、亀田総合病院、北里大学メディカルセンター、こうのす共生病院、越谷市立病院、国立病院機構東埼玉病院、国家公務員共済組合連合会九段坂病院、さいたま市民医療センター、埼玉医科大学病院、埼玉メディカルセンター、指扇病院、慈恵医科大学付属病院、昭和大学病院、新久喜総合病院、新越谷病院、新小山市民病院、秀和総合病院、順天堂越谷病院、順天堂大学医学部附属静岡病院、草加市立病院、同愛記念病院、獨協医科大学埼玉医療センター、羽生総合病院、三井記念病院、三宿病院、医療法人福寿会グループ、日本医科大学付属病院、茨城県西部メディカルセンター、順天堂大学医学部付属順天堂東京江東高齢者医療センター 他

リハビリテーション学科 理学療法学専攻

主な就職先

就職率
100%

愛里病院、赤羽中央総合病院、茨城リハビリテーション病院、汐田総合病院、宇都宮リハビリテーション病院、春日部厚生病院、春日部ロイヤルケアセンター、川口市立医療センター、川口きゅうら病院、熊谷総合病院、埼玉セントラル病院、新東京病院、苑田第三病院、竹の塚脳神経リハビリテーション病院、津田沼中央総合病院、東海大学医学部附属病院、富家病院、新座病院、春山記念病院、東埼玉総合病院、東鷺宮病院、八潮中央総合病院、リハビリテーション花の舎病院、和光リハビリテーション病院 他

リハビリテーション学科 義肢装具学専攻

主な就職先

就職率
100%

有限会社浦和義肢製作所、株式会社佐々木義肢製作所、株式会社田沢製作所、テクノブレイス株式会社、東名ブレース株式会社静岡支店、日本義手足製作株式会社、Nature's walk株式会社、有限会社前橋義肢製作所、三浦医工デザイン株式会社、株式会社溝口製作所、株式会社山梨義肢・装具製作所、有限会社吉田義肢装具研究所 他

夢を叶えそれぞれの道に進んだ

OB・OG INTERVIEW

大学で学んだ献立作成方法 (組み合わせ、味付け、栄養価、価格調整)が役立っています

主に3つの仕事をしています。献立作成や衛生管理、アレルギー対応をはじめとする「給食管理」。授業や掲示物、講話などでの「食に関する指導」。児童対応や行事運営など学校職員としての職務です。やりがいは、何より素直でまっすぐな感想やお礼が、子どもたちから聞けることです。「明日も子どもたちのためにがんばろう」という気持ちになります。食育の推進により、「川口市給食優良校」に選ばれました。子どもたちの学校の自慢は「給食がおいしいところ」。期待を背負って頑張ります。

すべての子どもたちの今とこれからを、
給食と食育で少しでも明るくしたい



●健康栄養学科 卒業
川口市立辻小学校 栄養教諭
大坪 琢琉 さん

大学で学んだことは一生残る いつか活かせる場面が必ずある

ナツ類を中心とした食品を扱う会社で、品質管理部に所属しています。製造工程管理や、新商品のテスト製造立ち合い等、幅広い業務に関わらせていただいている。多様な考えを受け入れてくれる職場で、着任一年目の社員であっても様々なチャレンジをさせてもらいます。いろいろな業務に関わり、自分の考えを発言できるので、とてもやりがいがあります。自分で考え積極的に行動し、それらの経験と学びが成長につながっています。また、在学中に取得したHACCP管理者は衛生管理に役立っています。

目標は、
優秀社員賞を受賞すること



●ヘルスフードサイエンス学科 卒業
金鶴食品製菓株式会社 品質管理部
神村 遼太 さん

みんな自分のことを全然知らないんだな、と思ったことがきっかけ。あなたの取扱説明書を作ってあげたい。

看護の専門学校を卒業し、更に本学の心身健康科学科(通信教育課程)で4年間学び、現在は仕事をしながら、大学院の心身健康科学専攻に在籍しています。仕事は、セラピストとして「あなたの取扱説明書を作る」をテーマに、コーチングや様々な種類のリラクゼーション、気功などを組み合わせオーダーメイドで施術しています。ある日、自分のことを誰よりも詳しくなれたら、ずっと機嫌良く過ごせると気づきました。自分の思考や体の癖、怪我をしやすい箇所や傷つきやすい言葉など、きちんと自身を理解できれば、回避はもちろん、自分を毎日喜ばせてあげることもできます。私にとって「よりよく生きる知恵」とは正にこのことだと思っています。そのために、人間の理解と心身相関の学びをもっと深めるため、大学院にて研究をしながら働いています。

人間の理解と心身相関の学びを
活かしながら働いています



●心身健康科学科 卒業
セラピスト
安藤 さゆり さん

多彩な分野で活躍する卒業生たちの声を紹介。

未来を切り拓く姿から、あなたの将来のヒントが見つかるはずです。

退院後を見据え ベストな看護を目指す

患者さんのお話を傾聴しコミュニケーションによる心のケアを始め、セルフケアの援助、医療処置等を行っています。また、患者さんが看護師とのコミュニケーションを通じ前向きな気持ちになったり、看護師の言葉や表情ひとつによって患者さんの安らぎが伝わってくることも多く、やりがいを感じています。関わりからも患者さんの症状が落ち着き安全な生活を提供できる素敵な仕事だと思います。目標は、コミュニケーションや作業療法などの生活の中から患者さんのストレンジス(強み)を見出し、患者さんと共に気分の変調時の対処法などを考えられる、退院後を見据えた看護を行うことができる看護師になりたいです。

コミュニケーションを通して
身体も心もケアを



●看護学科 卒業
久喜すずのき病院
染谷 桃花 さん

明るく馴染みやすそうな 雰囲気だった実習先

他職種関係なく距離が近くコミュニケーションを取っているところや先輩たちの雰囲気が良かったのでここに就職しました。入院した時には、歩くことも立つこともままならなかった方が、リハビリを重ねていくことで自立して歩けるようになり元気に退院される際、「あなたのおかげでよくなったよ、ありがとう」と感謝されたときにやりがいを感じます。患者さんのリハビリは教科書通りにはいかないことがたくさんあることを知りました。退院後の患者さんの支援に興味があることから、訪問リハビリに携わることが現在の目標です。



●リハビリテーション学科 理学療法学専攻 卒業
イムス板橋リハビリテーション病院
リハビリテーション科
野上 詩乃 さん

丁寧な対話と高い技術で、
喜ばれるものを作りたい



●リハビリテーション学科 義肢装具学専攻 卒業
株式会社ケイアイ セルスエンジニア
石川 乃衣 さん

他社にはない少人数の中で学び 成長することができる環境で挑戦

特定のメーカーの機種のみだけでなく幅広い機種の取り扱いがある点や、オーダーメイドの車椅子の作成も可能である点が他社と異なる強みであると感じ、少人数の中で学び成長するという観点から株式会社ケイアイを選びました。現在の業務は障害者支援施設、特別養護老人ホーム、在宅を回り、車椅子の点検や修理、新規車椅子の製作相談などを行っています。車椅子の修理をしたことで新品の様だと喜んでいただけることや、車椅子ユーザーさんが求める条件の車椅子を提供することができた際などにやりがいを感じます。今はまだ成人の方を対象とした仕事が多いですが、いずれはより専門的な医療知識が必要になる小児の分野に挑戦し、側弯や筋緊張のある方の姿勢保持が出来るようになりたいと考えています。

Hasuda

蓮田キャンパス

Campus

人間総合科学部健康栄養学科、ヘルスフードサイエンス学科、心身健康科学科(通信教育課程)が開設されている蓮田キャンパスは、本館、栄養棟、食と健康科学センター(実験棟)の3つの校舎で構成されています。また、里山のある広大なキャンパスは、四季折々の季節が感じられる自然に囲まれた環境で、より豊かな大学生活を送ることができます。

- 1 校舎外観
- 2 UHAS ラウンジ
- 3 カフェテリア
- 4 エントランス
- 5 ラーニングコモンズ
- 6 ラウンジ
- 7 パソコン室
- 8 建学の精神
- 9 本館1F
- 10 図書館
- 11 図書館前ギャラリー
- 12 大教室
- 13 中庭
- 14 セミナー室
- 15 食品衛生学実験室
- 16 食と健康科学センター
- 17 ラウンジ
- 18 栄養教育実習室
- 19 集団給食実習室
- 20 栄養棟外観
- 21 カリヨン「エスパワール」
- 22 グラウンド
- 23 ハーブ園
- 24 フットサルコート
- 25 池
- 26 ハイジの丘



食と健康科学センター(実験棟)は、衛生管理が徹底された食品衛生学実験室が設置され、専門的な器具を使用し、実験を行っています。また、2階のセミナー室は講義など、多目的に使用されています。



Human Sciences



人間科学部

「人間とは何か」を科学的・総合的に理解した上で、学生が一人ひとりの可能性を広げるために、そして生きていくために必要な「食」「栄養」を学べる学科として「健康栄養学科」「ヘルスフードサイエンス学科」があります。また、こころとからだ、環境・社会から人間の本質を理解する学科「心身健康科学科(通信教育課程)」が併設されています。

健康栄養学科

→ P.22

人間の「こころ」と「からだ」を理解し、適切な栄養指導や給食経営を行う知識と技術を取得。
薬局やドラッグストア、スポーツ栄養、国際協力の場などでも活躍できる素養を身につけます。

定員
40名

学びのポイント
・管理栄養士
・食文化
・スポーツ栄養
・免疫学
・国際栄養
・地域栄養
・給食経営管理
・公衆衛生
・人体・疾病
・精神保健



ヘルスフードサイエンス学科

→ P.26

食品・栄養・ビジネスなど幅広い分野の授業が用意され、企業での食品開発やメニュー開発、教育や福祉の分野での栄養士の道などそれぞれの目標に合った学修が可能です。

定員
15名

学びのポイント
・食品(商品)開発
・メニュー開発
・人間開発
・栄養士
・食品衛生
・フードマネジメント
・グローバルフードビジネス
・公衆衛生
・食文化
・調理学



心身健康科学科

通信教育課程

→ P.30

大卒資格やその他の各種資格、将来のビジョンの実現まで、様々な目的を持って、日本だけでなく海外の方々もインターネット授業と学びやすいオンライン学修システムで、自由に学んでいます。

定員
250名

学びのポイント
・心理学
・コミュニケーション
・ストレスと健康
・ライフプロモーション
・カウンセリング
・データ解析
・こころとからだ
・AI・データサイエンス
・健康情報
・心身健康科学



健康栄養学科

人間科学部

学士 健康栄養学

Admission Policy

- 健康・栄養に関する学びに関心がある人
- 管理栄養士としての専門知識と技能を身につけたいと希望する人
- 他者との協働によって学びを深め、様々な学修経験を通じて自身の成長に努力できる人
- 心身の健康に貢献できる管理栄養士に関心を持つ人

人間を理解し、活力あふれる創造性豊かな管理栄養士に！

管理栄養士は、一般の方から傷病者、乳幼児から高齢者、スポーツ栄養の分野など、それぞれの状況に応じて適切な食を設計し、実践する専門職です。本学科は食や栄養、身体などの専門領域を通して、人間を総合的に理解するための科目も充実しています。現代社会のニーズに応え、活躍できる管理栄養士を目指す、意欲ある皆さんをお待ちしています。

健康栄養学科長 梅國 智子 教授



3つのプログラムで広がる活躍の場



スポーツ栄養 を学ぶ

運動及び競技スポーツに関する食・栄養相談について学びます。



薬局管理栄養士 を目指す

薬剤師との連携や食品の機能性について学びます。



国際栄養 を学ぶ

国際基準で栄養評価や多様な食文化・コミュニケーションを学びます。

いきいき輝くライフを創る管理栄養士として活躍するため

「健康」への深い理解を持ったプロフェッショナルを育成する。

1 学生の到達度をこまめに把握、きめ細やかな国家試験対策



1年次から「管理栄養士基礎演習」を履修し、管理栄養士になるための基礎を学びます。3年次からは月1回の実力試験を実施し、こまめに到達度を把握。結果に応じて個別に指導を行います。独自のグループ学修も試験合格に大いに役立っています。

2 薬局での栄養相談、スポーツ系、国際系、AI・データ活用系科目を開設



薬局管理栄養士やスポーツ栄養分野、国際的に活躍する管理栄養士を目指す学生向けの科目を開講。またAIやデータ分析のリテラシーを身につける科目も選択できます。

3 地域社会で管理栄養士の知識を活用



さいたま市や蓮田市、さいたま商工会議所、蓮田市商工会などと連携し、政策提言のコンテストや飲食店のメニュー考案など地域において管理栄養士の知識と能力を活かす授業を展開しています。令和6年第13回学生政策提案フォーラム優秀賞、令和5年第12回最優秀賞など、近年連続して受賞しています。

目指す資格

活躍する未来

健康意識の高まりとともに、管理栄養士の活躍の場は広がっています。病院だけではなく、食品開発やスポーツ栄養など、多岐にわたる分野で専門知識を活かせます。高齢化社会においては、個々人に合わせた栄養指導がますます求められ、その役割はますます重要となっています。

管理栄養士★ (国家試験受験資格)

国家試験合格率
76.3%
2021~2024年度
4年平均(新卒)

その他

- 栄養士(免許状)★
- 栄養教諭一種(免許状／選択制)
- 食品衛生管理者(任用資格)○
- 食品衛生監視員(任用資格)○
- NR・サプリメントアドバイザー
- 美容栄養学専門士
- 認定心理士

★…卒業と同時に資格取得 ○…卒業後、職場で取得

全国初！

全学科で副専攻を活用して
「認定心理士」も取得可能に

管理栄養士 × 認定心理士

管理栄養士は、食事による身体的健康の維持や改善をサポートしますが、食行動には心理的な側面が大きく関わっています。心理学の知識を有する管理栄養士は、食事の選択や食行動の背後にある心理的な要因を理解し、健康的な食生活への長期的な変更をサポートできます。また、食に関わる心理的障害の早期発見や、それに対する適切なアプローチが可能となります。

カリキュラム

1年次		2年次		3年次		4年次	
大学で学ぶ基礎能力を身につけ、栄養や身体の構造など管理栄養士としての基礎を学びます。		給食実習など実践的な学びがスタート。食と栄養・健康、病気など医療分野の学修が増えます。		専門分野・教職の科目、病院や事業所、保健所などでの臨地実習が行われます。		自らのテーマを見つけて総合的に研究し、問題解決能力を高めます。	
基礎	基礎	基礎	基礎	基礎	基礎	基礎	基礎
コア	コア	コア	コア	コア	コア	コア	コア
○心身健康科学(前期) ○コミュニケーション実習Ⅰ ○こころの科学(前期) ○生物学基礎(前期) ●AI・データ活用リテラシー(後期) ○化学基礎(前期) ○英語基礎(前期) ○コンピューター入門(前期) ○管理栄養士基礎演習Ⅰ(後期) ○スポーツと健康(後期) ○体育概論(後期) ○職業とキャリア形成(前期)	○ヒューマンⅠ(前期) ○コミュニケーション実習Ⅱ ○こころの科学(前期) ○生物学基礎(前期) ●発達心理学と環境(後期) ○管理栄養士基礎演習Ⅲ(後期) ○社会・環境 ○公衆衛生学Ⅰ(後期)	○ヒューマンⅡ ○精神保健(前期) ○管理栄養士基礎演習Ⅱ(前期) ●食品発酵学(前期) ●発達心理学と環境(後期) ○管理栄養士基礎演習Ⅳ(後期) ○社会・環境 ○公衆衛生学Ⅱ(前期)	○ヒューマンⅢ ○精神保健(前期) ○管理栄養士基礎演習Ⅴ(後期) ●食品発酵学(前期) ●発達心理学と環境(後期) ○管理栄養士基礎演習Ⅲ(後期) ○社会・環境 ○公衆衛生学Ⅰ(後期)	○ヒューマンⅣ(前期) ○精神保健(前期) ○管理栄養士基礎演習Ⅳ(後期) ●発達心理学と環境(後期) ○管理栄養士基礎演習Ⅴ(後期) ○社会・環境 ○公衆衛生学Ⅱ(後期)	○ヒューマンⅤ(前期) ○精神保健(前期) ○管理栄養士基礎演習Ⅵ(後期) ●発達心理学と環境(後期) ○管理栄養士基礎演習Ⅶ(後期) ○社会・環境 ○公衆衛生学Ⅲ(後期)	○ヒューマンⅥ(前期) ○精神保健(前期) ○管理栄養士基礎演習Ⅷ(後期) ●発達心理学と環境(後期) ○管理栄養士基礎演習Ⅸ(後期) ○社会・環境 ○公衆衛生学Ⅳ(後期)	○ヒューマンⅩ(前期) ○精神保健(前期) ○管理栄養士基礎演習Ⅺ(後期) ●発達心理学と環境(後期) ○管理栄養士基礎演習Ⅻ(後期) ○社会・環境 ○公衆衛生学Ⅴ(後期)
専門基礎	専門基礎	専門基礎	専門基礎	専門基礎	専門基礎	専門基礎	専門基礎
社会・環境 ○生活と環境(後期) 人体・疾病 ○身体の構造と機能Ⅰ(前期) ○身体の構造と機能Ⅱ(後期) 食べ物と健康 ○生化学Ⅰ(前期) ○生化学Ⅱ(前期) ○食文化論(前期) ○食品学総論(前期) ○食品学各論(後期) ○食の科学(前期) ○調理学実習Ⅰ(後期) ○食品学実習Ⅱ(後期) ○食事計画実習 ○調理学(後期)	社会・環境 ○からだと健康(後期) 人体・疾病 ○病気の成り立ちⅠ(前期) ○解剖生理学実習(前期) ○生化学実習(後期) ○病気の成り立ちⅡ(後期) 食べ物と健康 ○食品管理論(前期) ○調理学実習Ⅱ(前期) ○食品衛生学(前期) ○食品衛生学実習(後期)	社会・環境 ○からだと健康(後期) 人体・疾病 ○病気の成り立ちⅠ(後期) ○解剖生理学実習(後期) ○生化学実習(前期) ○病気の成り立ちⅡ(後期) 食べ物と健康 ○食品管理論(前期) ○調理学実習Ⅰ(前期) ○食品衛生学(前期) ○食品衛生学実習(後期)	社会・環境 ○からだと健康(後期) 人体・疾病 ○病気の成り立ちⅠ(後期) ○解剖生理学実習(後期) ○生化学実習(後期) ○病気の成り立ちⅡ(後期) 食べ物と健康 ○食品管理論(前期) ○調理学実習Ⅱ(後期) ○食品衛生学(前期) ○食品衛生学実習(後期)	社会・環境 ○からだと健康(後期) 人体・疾病 ○病気の成り立ちⅠ(後期) ○解剖生理学実習(後期) ○生化学実習(後期) ○病気の成り立ちⅡ(後期) 食べ物と健康 ○食品管理論(前期) ○調理学実習Ⅲ(後期) ○食品衛生学(前期) ○食品衛生学実習(後期)	社会・環境 ○からだと健康(後期) 人体・疾病 ○病気の成り立ちⅠ(後期) ○解剖生理学実習(後期) ○生化学実習(後期) ○病気の成り立ちⅡ(後期) 食べ物と健康 ○食品管理論(前期) ○調理学実習Ⅳ(後期) ○食品衛生学(前期) ○食品衛生学実習(後期)	社会・環境 ○からだと健康(後期) 人体・疾病 ○病気の成り立ちⅠ(後期) ○解剖生理学実習(後期) ○生化学実習(後期) ○病気の成り立ちⅡ(後期) 食べ物と健康 ○食品管理論(前期) ○調理学実習Ⅴ(後期) ○食品衛生学(前期) ○食品衛生学実習(後期)	社会・環境 ○からだと健康(後期) 人体・疾病 ○病気の成り立ちⅠ(後期) ○解剖生理学実習(後期) ○生化学実習(後期) ○病気の成り立ちⅡ(後期) 食べ物と健康 ○食品管理論(前期) ○調理学実習Ⅵ(後期) ○食品衛生学(前期) ○食品衛生学実習(後期)
専門	専門	専門	専門	専門	専門	専門	専門
基礎栄養 ○栄養と代謝(後期) 共通科目 ●国際研修 ●ボランティア活動	基礎栄養 ○栄養生理化学(前期) 応用栄養 ○栄養学各論Ⅰ(前期) ○臨床栄養学Ⅰ(前期) ○応用栄養学Ⅱ(後期) ○栄養学各論Ⅱ(後期)	基礎栄養 ○栄養学各論Ⅰ(後期) ○臨床栄養学Ⅱ(後期) ○応用栄養学Ⅲ(後期) ○臨床栄養学Ⅲ(後期) ○公衆栄養 ○公衆栄養学Ⅰ(前期) ○公衆栄養学Ⅱ(後期)	基礎栄養 ○栄養学各論Ⅱ(前期) ○臨床栄養学Ⅳ(後期) ○応用栄養学Ⅳ(後期) ○臨床栄養学Ⅴ(後期) ○公衆栄養 ○公衆栄養学Ⅲ(前期) ○公衆栄養学Ⅳ(後期)	基礎栄養 ○栄養学各論Ⅲ(前期) ○臨床栄養学Ⅴ(後期) ○応用栄養学Ⅴ(後期) ○臨床栄養学Ⅵ(後期) ○公衆栄養 ○公衆栄養学Ⅳ(前期) ○公衆栄養学Ⅴ(後期)	基礎栄養 ○栄養学各論Ⅳ(前期) ○臨床栄養学Ⅵ(後期) ○応用栄養学Ⅵ(後期) ○臨床栄養学Ⅶ(後期) ○公衆栄養 ○公衆栄養学Ⅴ(前期) ○公衆栄養学Ⅵ(後期)	基礎栄養 ○栄養学各論Ⅴ(前期) ○臨床栄養学Ⅶ(後期) ○応用栄養学Ⅶ(後期) ○臨床栄養学Ⅷ(後期) ○公衆栄養 ○公衆栄養学Ⅵ(前期) ○公衆栄養学Ⅶ(後期)	基礎栄養 ○栄養学各論Ⅵ(前期) ○臨床栄養学Ⅸ(後期) ○応用栄養学Ⅸ(後期) ○臨床栄養学Ⅹ(後期) ○公衆栄養 ○公衆栄養学Ⅶ(前期) ○公衆栄養学Ⅷ(後期)
教職 栄養教論(一種)	教職 栄養教論(一種)	教職 栄養教論(一種)	教職 栄養教論(一種)	教職 栄養教論(一種)	教職 栄養教論(一種)	教職 栄養教論(一種)	教職 栄養教論(一種)



シラバス検索

Pick up 授業



スポーツ栄養学演習

疲労回復のための食事方法、栄養補助食品(サプリメント)などの知識を身につけ、ジュニアスポーツ、スポーツ競技者、女性アスリートを対象に指導できる力を養います。



臨床栄養学実習II

摂食障害食、発熱や脱水、下痢、便秘、歯周病などの徵候に対する栄養管理計画や栄養サポートについて学びます。栄養治療報告についても、症例ごとに実習・演習を行います。



薬局管理栄養士実習

近年、地域住民の健康サポートを実施する薬局やドラッグストアが増加。生化学や臨床栄養学、公衆栄養学の知識を応用した健康相談、栄養指導ができる能力を身につけます。



臨地実習レポート

人間科学部 健康栄養学科 4年 加倉田 涼美さん 茗渓学園高等学校出身

他職種と連携したきめ細やかな栄養サポートの重要性を実感。

特別養護老人ホームでの実習は、管理栄養士の仕事の理解を深める貴重な機会となりました。特に印象に残ったのは、管理栄養士の方が、さまざまな職種の方々と連携しながら入居者の情報を共有し、一人ひとりに合わせた栄養管理や食事提供を行っていたこと。食事が単なる栄養摂取だけでなく、食べる喜びや健康状態に大きく影響を与えるものであることを学びました。

主な実習先

東京慈恵会医科大学附属病院／国立研究開発法人 国立がん研修センター中央病院／埼玉医科大学病院／自治医科大学附属病院／医療法人社団愛友会 上尾中央総合病院／医療法人秀和会 秀和総合病院／医療法人社団協友会 彩の国東大宮メディカルセンター／医療法人徳洲会 野田総合病院／株式会社LEOC／株式会社グリーンハウスマス／コンバスクグループ・ジャパン株式会社／株式会社日本栄養給食協会／ジャパンウェルネス株式会社／株式会社レバスト／埼玉県・栃木県等の保健所



1週間のスケジュール

	MON	TUE	WED	THU	FRI
1	管理栄養士基礎演習Ⅲ	給食経営管理実習			生化学実習
2	栄養教育論Ⅰ	給食経営管理実習	公衆衛生学Ⅰ		生化学実習
3	栄養学各論Ⅱ	給食経営管理実習	食品衛生学実習	臨床栄養学Ⅰ	応用栄養学実習
4	病気の成り立ちⅡ	給食経営管理実習	食品衛生学実習	からだと健康	応用栄養学実習
5	公衆栄養学Ⅱ		臨時実習前後教育	統計学	食文化論

人間科学部 健康栄養学科 3年

大橋 恵奈さん

管理栄養士を志望するようになったきっかけは、その活躍の幅広さと、人々の心身を支えるという仕事に魅力を感じたからです。1年次から国家資格取得に向けた対策ができる点も、この大学を選んだ理由の一つです。大学での学びを通して、基礎知識に加え、さまざまな専門分野の知識を習得することができました。実験・実習を通して自ら体験することで、知識の定着が促進されると実感しています。特に印象深いのは、日本食・洋食・中華の調理実習を通して、調理技術の基礎はもちろん、四季折々の食材や調理法に触れ、豊かな感性を養うことができました。また、グループワークを通じて、コミュニケーション能力の向上にも繋がりました。今後の目標は、国家試験合格に向け、基礎知識はもちろんのこと、より専門的な知識を深めていきたいです。

栃木県立宇都宮白楊高等学校出身

調理実習で技術だけでなく感性や協調性が磨かれた

STUDENT'S VOICE

ヘルスフードサイエンス学科

人間科学部

学士
食品健康科学



Admission Policy

- 食品・栄養に関する幅広い学びに関心がある人
- 食・栄養分野において自身の関心に沿った専門知識と技能を身につけたいと希望する人
- 他者との協働によって学びを深め、様々な学修経験を通じて自身の成長に努力できる人
- 心身の健康について食・栄養の側面から貢献したいと希望する人

食で「ワクワク感」を伝えたい!
栄養・食ビジネスの専門家を育成。

生活習慣病、超高齢化、高度ストレス社会を迎えた現代において、食はこれまで以上に重要です。体だけではなく心の健康にも貢献できるのが食です。当学科では、人間を総合的に理解する「心身健康科学」を基盤とし、食を幅広く実践的に学んでいただきます。『ワクワク感』を提供できる食の専門家を目指しましょう。

ヘルスフードサイエンス学科長 時光 一郎 教授



食を多面的に学び、3つの開発を目指す



食品(商品)
開発



レシピ・メニュー
開発



自分を磨く
人間開発

食品・栄養・食ビジネスについて幅広く学び、

「おいしい×ヘルシー」で食を開発するスペシャリストを養成。

1 「こころ」×「からだ」で
本当のおいしさを目指す



食品について深く学び、「人と健康」に関する知識を身につけます。栄養士の資格を持った食品開発のスペシャリストとして「おいしい」と「ヘルシー」を両立できる能力を持った人材を育成します。

2 ビジネス感覚で養う
プロジェクト形式の学び



企業やさいたま市などの行政とコラボレーションし、メニュー開発や地域連携などを行います。社会に参加して学ぶ経験を通して現場感を磨き、卒業後のキャリアにつなげます。

3 自由度の高いカリキュラム
AI・データ活用科目も
開講



学生一人一人の「学びたいこと」に沿ったたくさんの選択科目を用意。また、食のプロフェッショナルや栄養士として求められるデータ分析の基礎力も身につけます。

目指す資格

栄養士(免許状)★卒業と同時に取得

食品衛生管理者(任用資格)◎

食品衛生監視員(任用資格)◎

HACCP管理者

登録販売者

メディシェフ(日本医食促進協会)

健康食品管理士

食の6次産業化プロデューサー

NR・サプリメントアドバイザー

食品微生物検査技士

JSSE 官能評価士

フードコーディネーター

フードスペシャリスト

フードサイエンティスト

認定心理士

卒業後、実務経験1年以上で管理栄養士国家試験受験資格

◎…卒業後、職場で取得

活躍する未来

食と健康に特化した新しい学問分野のヘルスフードサイエンス学科。学びを活かし、多くの資格取得にチャレンジできます。スキルを発揮できる食品メーカー・外食産業・受託給食会社はじめ、自分の夢を実現できる道がたくさんあります。

全国初!

全学科で副専攻を活用して
「認定心理士」も取得可能に

各種資格

×認定心理士

食品開発やメニュー開発の領域では、消費者の好みや心理を深く理解し、健康志向の高い食品の開発やマーケティングを行うことができる人材が求められています。心理学の基礎を修得して、心と身体の両面において、ヘルシーな食品を創出し、消費者のライフスタイル向上に貢献できるプロフェッショナルを目指します。

カリキュラム

1年次		2年次		3年次		4年次	
基礎	コア	基礎	コア	基礎	コア	基礎	コア
○心身健康科学(前期)	○ヒューマンⅠ(前期)	○生化学(前期)	○ヒューマンⅡ(前期)	○基礎統計演習(前期)	○ヒューマンⅢ(前期)	○生命科学概論(後期)	○ヒューマンⅣ(前期)
○こころの科学(前期)	○ヒューマンⅠ(後期)	○基礎統計演習(後期)	○ヒューマンⅡ(後期)	●無機化学(前期)	●細胞と遺伝子(後期)	●無機化学(後期)	●ヒューマンⅢ(後期)
○化学基礎(前期)	○ストレスと食・健康(前期)	○食文化論(後期)	○食文化論(前期)	○AI・データ活用リテラシー(後期)	○栄養代謝実験(前期)	○AI・データ活用リテラシー(前期)	○ヒューマンⅣ(後期)
○生物学基礎(前期)	○AI・データ活用リテラシー(後期)	●AI・データ活用リテラシー(後期)	○食品学実験Ⅱ(後期)	●AI・データ活用リテラシー(後期)	○食品学実験Ⅱ(後期)	●AI・データ活用リテラシー(後期)	●AI・データ活用リテラシー(後期)
○英語基礎(前期)	●食品・栄養の基礎	●食品・栄養の基礎	●食品・栄養の基礎	●食品・栄養の基礎	●食品・栄養の基礎	●食品・栄養の基礎	●食品・栄養の基礎
○コミュニケーション実習Ⅰ	●食品・栄養の基礎	●食品・栄養の基礎	●食品・栄養の基礎	●食品・栄養の基礎	●食品・栄養の基礎	●食品・栄養の基礎	●食品・栄養の基礎
○コンピューター入門(前期)	●食品・栄養の基礎	●食品・栄養の基礎	●食品・栄養の基礎	●食品・栄養の基礎	●食品・栄養の基礎	●食品・栄養の基礎	●食品・栄養の基礎
○数学(前期)	●食品・栄養の基礎	●食品・栄養の基礎	●食品・栄養の基礎	●食品・栄養の基礎	●食品・栄養の基礎	●食品・栄養の基礎	●食品・栄養の基礎
○体育概論(後期)	●食品・栄養の基礎	●食品・栄養の基礎	●食品・栄養の基礎	●食品・栄養の基礎	●食品・栄養の基礎	●食品・栄養の基礎	●食品・栄養の基礎
○食品微生物学(前期)	●食品・栄養の基礎	●食品・栄養の基礎	●食品・栄養の基礎	●食品・栄養の基礎	●食品・栄養の基礎	●食品・栄養の基礎	●食品・栄養の基礎
○論理学-論理的思考と表現法(後期)	●食品・栄養の基礎	●食品・栄養の基礎	●食品・栄養の基礎	●食品・栄養の基礎	●食品・栄養の基礎	●食品・栄養の基礎	●食品・栄養の基礎
○スポーツと健康(後期)	●食品・栄養の基礎	●食品・栄養の基礎	●食品・栄養の基礎	●食品・栄養の基礎	●食品・栄養の基礎	●食品・栄養の基礎	●食品・栄養の基礎
○有機化学(後期)	●食品・栄養の基礎	●食品・栄養の基礎	●食品・栄養の基礎	●食品・栄養の基礎	●食品・栄養の基礎	●食品・栄養の基礎	●食品・栄養の基礎
○職業とキャリア形成(前期)	●食品・栄養の基礎	●食品・栄養の基礎	●食品・栄養の基礎	●食品・栄養の基礎	●食品・栄養の基礎	●食品・栄養の基礎	●食品・栄養の基礎
専門基礎	食品・栄養の基礎	食品・栄養の基礎	食品・栄養の基礎	食品・栄養の基礎	食品・栄養の基礎	食品・栄養の基礎	食品・栄養の基礎
○食品学総論(前期)	○食品学総論(前期)	○食品学実験Ⅰ(後期)	○食品学実験Ⅰ(後期)	●食品発酵学(後期)	●食品発酵学(後期)	●食品発酵学(後期)	●食品発酵学(後期)
○食品の科学	●食品・栄養の基礎	●食品・栄養の基礎	●食品・栄養の基礎	●食品・栄養の基礎	●食品・栄養の基礎	●食品・栄養の基礎	●食品・栄養の基礎
○給食計画論(後期)	●食品・栄養の基礎	●食品・栄養の基礎	●食品・栄養の基礎	●食品・栄養の基礎	●食品・栄養の基礎	●食品・栄養の基礎	●食品・栄養の基礎
○食生活と健康(後期)	●食品・栄養の基礎	●食品・栄養の基礎	●食品・栄養の基礎	●食品・栄養の基礎	●食品・栄養の基礎	●食品・栄養の基礎	●食品・栄養の基礎
○食品学各論(後期)	●食品・栄養の基礎	●食品・栄養の基礎	●食品・栄養の基礎	●食品・栄養の基礎	●食品・栄養の基礎	●食品・栄養の基礎	●食品・栄養の基礎
○調理学(前期)	●食品・栄養の基礎	●食品・栄養の基礎	●食品・栄養の基礎	●食品・栄養の基礎	●食品・栄養の基礎	●食品・栄養の基礎	●食品・栄養の基礎
○食品加工基礎(後期)	●食品・栄養の基礎	●食品・栄養の基礎	●食品・栄養の基礎	●食品・栄養の基礎	●食品・栄養の基礎	●食品・栄養の基礎	●食品・栄養の基礎
●食品加工基礎実習(後期)	●食品・栄養の基礎	●食品・栄養の基礎	●食品・栄養の基礎	●食品・栄養の基礎	●食品・栄養の基礎	●食品・栄養の基礎	●食品・栄養の基礎
人間理解の基礎	●食品・栄養の基礎	●食品・栄養の基礎	●食品・栄養の基礎	●食品・栄養の基礎	●食品・栄養の基礎	●食品・栄養の基礎	●食品・栄養の基礎
○身体の構造と機能(前期)	●食品・栄養の基礎	●食品・栄養の基礎	●食品・栄養の基礎	●食品・栄養の基礎	●食品・栄養の基礎	●食品・栄養の基礎	●食品・栄養の基礎
ヘルスフードサイエンス分野	●食品・栄養の基礎	●食品・栄養の基礎	●食品・栄養の基礎	●食品・栄養の基礎	●食品・栄養の基礎	●食品・栄養の基礎	●食品・栄養の基礎
○栄養指導論(後期)	●食品・栄養の基礎	●食品・栄養の基礎	●食品・栄養の基礎	●食品・栄養の基礎	●食品・栄養の基礎	●食品・栄養の基礎	●食品・栄養の基礎
フードマネジメント分野	●食品・栄養の基礎	●食品・栄養の基礎	●食品・栄養の基礎	●食品・栄養の基礎	●食品・栄養の基礎	●食品・栄養の基礎	●食品・栄養の基礎
○調理学実習Ⅰ(前期)	●食品・栄養の基礎	●食品・栄養の基礎	●食品・栄養の基礎	●食品・栄養の基礎	●食品・栄養の基礎	●食品・栄養の基礎	●食品・栄養の基礎
○給食の運営管理論(前期)	●食品・栄養の基礎	●食品・栄養の基礎	●食品・栄養の基礎	●食品・栄養の基礎	●食品・栄養の基礎	●食品・栄養の基礎	●食品・栄養の基礎
○調理学実習Ⅱ(後期)	●食品・栄養の基礎	●食品・栄養の基礎	●食品・栄養の基礎	●食品・栄養の基礎	●食品・栄養の基礎	●食品・栄養の基礎	●食品・栄養の基礎
共通科目	●食品・栄養の基礎	●食品・栄養の基礎	●食品・栄養の基礎	●食品・栄養の基礎	●食品・栄養の基礎	●食品・栄養の基礎	●食品・栄養の基礎
●国際研修	●食品・栄養の基礎	●食品・栄養の基礎	●食品・栄養の基礎	●食品・栄養の基礎	●食品・栄養の基礎	●食品・栄養の基礎	●食品・栄養の基礎
●ボランティア活動	●食品・栄養の基礎	●食品・栄養の基礎	●食品・栄養の基礎	●食品・栄養の基礎	●食品・栄養の基礎	●食品・栄養の基礎	●食品・栄養の基礎
専門	●食品・栄養の基礎	●食品・栄養の基礎	●食品・栄養の基礎	●食品・栄養の基礎	●食品・栄養の基礎	●食品・栄養の基礎	●食品・栄養の基礎
○必修科目 / ●は選択科目	※カリキュラムは2025年4月現在のものであります。変更の可能性があります。						



シラバス検索

カリキュラム

Pick up 授業



分子調理学Ⅰ・Ⅱ

授業では食材の機能性、調理方法について学び、実際にさいたま商工会議所会員飲食店との共同メニューや企業との共同製品を開発し、販売体験を行います。



食品微生物学

微生物とはどのようなものか、食品に存在する微生物の種類や特徴などの基本的な知識を学びます。また、食中毒に関わる微生物と食中毒を予防する方法や、発酵食品の製造に関わる微生物についても学びます。



食品官能評価

味覚や嗅覚などの感覚器官を使って、人間の感覚や好みを調べ、食品の特徴を理解する官能評価について学びます。おいしさを評価する方法を知り、商品開発などに活かします。



フードコーディネート論

食事の文化、食卓や食空間のコーディネート、サービスとマナーなど「フードコーディネート」に関する基礎知識を習得。起業計画や収支計算など店舗経営に関する知識も得られます。

実習レポート

人間科学部 ヘルスフードサイエンス学科 4年 近藤 梨果さん 北越高等学校出身

「美味しい」の裏側にある栄養士の仕事の奥深さに触れた実習体験。

給食経営管理実習は、栄養士の仕事の奥深さを知る貴重な経験になりました。単に献立を作成するだけでなく、学校の教職員や生徒の声を反映させることで、より良い食事提供ができることを学びました。また、衛生管理の徹底が、安全で美味しい給食提供の基盤であることを認識し、これまで意識できていなかった点も含め、日々の生活から徹底していくこを感じました。



主な実習先

埼玉県立岩槻はるかぜ特別支援学校／パレットやぎさき／岩淵保育園／(株)中村屋埼玉工場／UDトラックス株式会社／住友化学株式会社東京本社／東京家庭裁判所／特許庁／特別養護老人ホーム癒しの里南千住 他



専門的な知識や技術を学び、深める日々

人間科学部 ヘルスフードサイエンス学科 4年

中居 星翔さん

栃木県立栃木農業高等学校出身

高校で食品科学を勉強するうちに、さらに専門的な知識を身につけると考えようになり、ヘルスフードサイエンス学科への進学を決めました。多くの先生方から専門的な技術や知識を教わり、日々学びを深めています。学科の勉強以外に成長したと思う点は、入学後から自分でカリキュラムを組んだり、授業の変更手続きを経験したりする中で、苦手だったスケジュール管理ができるようになったことです。ほかにも、ほぼ毎日利用する食堂では、彩り豊かで栄養バランスの取れた日替わり献立が楽しみの一つです。人間総合科学大学では、勉強だけでなく友達との交流など、多様な経験を通して成長できる機会があると感じています。今後は、たくさんの経験を通して、自分に合うものや興味を深められる分野を見極めていきたいです。

心身健康科学科

人間科学部

通信教育
課程

学士
人間
科学



アドミッション・ポリシー

- 人間の「こころ」「からだ」「環境・社会」の学びに関心があり、その社会応用に必要な科学技術の修得に興味のある人
- 人間の理解とウェルビーイング(心身の健康と幸福)に関心があり、心身ともに健康で豊かな人生と幸せな社会づくりを追求するために必要な教養(リベラル・アーツ)を修得する意欲を持つ人
- 社会の動向や科学と技術の進展に関心を持ち、生涯にわたって学び続ける意欲を持つ人
- 自立の精神と自己理解を大切にし、オンラインによる柔軟な学修環境を活かして、自らの社会的経験を基盤にした学びを主体的に追求する意欲のある人

こころとからだを学び、 しなやかに乗り越える力を身に着ける

やりたいことを実現し、将来を生き抜くために、人間に備わった真の力を知り、活用していくことが大切な時代となっていました。人間のこころとからだ、環境・社会を学ぶことにより、自分だけでなく周囲と共生してしなやかに生きる、ずっと役に立つwell-being(よりよく生きる力)を一緒に身に着けていきましょう。

心身健康科学科(通信教育課程)学科長 矢島 孔明 教授



「こころ」「からだ」「環境・社会」3つの領域を学び、

人間の本質を理解する。学んだ知識は社会を生き抜く力になる。

1 こころを理解する



こころというものが生じる仕組みや行動を理解し、他者とよりよく過ごす知恵を見出します。

2 からだを理解する



私たちを構成するからだの仕組みを理解し、地球上で生活するヒトとしての活動の土台を理解します。

3 環境・社会を理解する



人間のこころとからだに大きな影響を及ぼす社会や環境との関係性について理解を深めます。

20年以上のオンライン教育実績

通学ゼロでも卒業が可能!



無理なくゴール(卒業)まで 行き着く履修スタイル

スクーリング履修もインターネット授業を選択すれば、通学ゼロでも卒業が可能です。学びやすさを重視している本学では、英語や体育、卒業研究などの科目も必修ではなく選択制となっています。通学にかかる時間や経費が軽減されるため、ご自身のライフスタイルに合わせた学修やお仕事との両立もできます。

目標や学修環境に
合わせて



一人ひとりの成長を支える 担任制度

担任教員が一人ひとりの学生を卒業までサポートしています。ひとりで学ぶのが不安な学生さんや、学習計画を自分で立てるのが苦手な学生さんも担任教員のサポートを受けながら学修を進めていくことができます。その他にも提出物が滞っている場合などは事務スタッフが相談にのり、アドバイスも行っています。

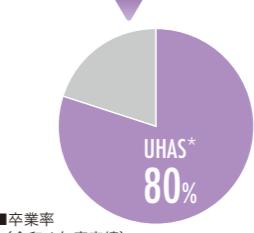
自分で選べる!



100以上の科目と オリジナルテキスト

自分の興味や関心に合わせて自由に科目を選択できるように、100科目以上の多彩なカリキュラムを用意しています。また、主要科目では科目担当教員が通信教育用にオリジナルテキストを開発。自学自修を丁寧にサポートできるように、理解度や達成度に合わせて段階的に学べる構成になっています。

目標達成への信頼と
安心の実績



■卒業率
(令和4年度実績)

高い卒業率に繋がる 学びやすさ

本学は、通信制大学の中では毎年トップクラスの卒業率を誇ります。ネットスクーリング授業のほか、特定日を設けず一定期間内で自由に受験できる科目修了試験、学ぶ意欲をサポートする担任制度など、貴重な時間や学費をムダにせず、卒業まで学修をやり遂げられる環境が整っています。

UHAS*

80%

認定心理士

「心理学の専門家として仕事をするために必要な最小限の標準的基礎学力と技能を習得している」と、公益社団法人日本心理学会が認定する民間資格です。本学において指定の科目を履修し、単位を修得した後、日本心理学会に申請することにより認定されます。

活躍する未来

高齢化社会の進展や心の病への関心の高まりから、認定心理士の需要はますます高まっています。病院、福祉施設、学校など、様々な場所で心のケアの専門家として活躍できます。特に、高齢者や障がい者の生活支援、社会福祉などの分野でその役割は大きくなっています。

その他(各資格取得において要件あり)

心身健康アドバイザー
社会福祉主事
ITパスポート(国家資格)
看護師等養成所の専任教員資格
(看護師・保健師等の基礎資格がある社会人対象)

しっかりサポート！学修のすすめ方

出願／合格

前期(4月)に加え、後期(10月)入学も可能。4月に間に合わなくても、1年待たずに入学できます。

履修科目登録

履修科目登録はインターネットを利用して簡単に登録できます。履修科目の相談を担任の先生と行えます。

テキスト履修・スクーリング履修

テキスト履修(T)

テキストを読んで課題を提出する、通信教育課程の基本的な学修スタイルです。



スクーリング履修

スクーリング履修とはインターネット又は会場にて教員の授業を受ける科目です。卒業に必要なスクーリングはすべてインターネット授業で履修することも可能です。



総合演習

自分の特徴に合う科目を下記から選択できます。大学での学びをアクティブラーニングを通じて自分のものにします。指導教員と相談しながら知識を統合した考える力を養い、活きた「よりよく生きるために」を変えます。

人間総合科学の理解Ⅰ・Ⅱ

年4回の課題レポートで学びを振り返り、総合的・科学的に人間理解を深め、活かせる考えを身につけます。

人間総合科学の探究Ⅰ・Ⅱ

テーマを自分で設定し、必要な事象を調べながら指導教員と「卒業論文」を完成させます。

卒業

「こころ」「からだ」をより良く活かす一生の力を身につけ、広く社会に貢献できます。

「なりたい自分になるために」

ライフプロモーションコース

こんな人におすすめ！

自分=人間を理解したい自宅で学び、時間を有効に使いたいとにかく大学卒業資格を取りたい

※春・秋と年2回の入学チャンス

ストレスに強くなる。自分を知り、よりよく生きられる人になることを目指す方におすすめのコースです。オンライン学修だけで大学を卒業することができます。

いのちの運用・
たくましい生き方を学ぶ

ライフプロモーションコースの学び

学科の学びを通して得た
物事を多角的に捉える視点

人間科学部 心身健康科学科(通信教育課程) 3年

吉田 莉恩さん

駒場学園高等学校出身



履修している科目

- 感情・思考・行動パターンと人間関係(T)
- 共生と環境(T) (N)
- カウンセリングのすすめ(T)
- 学習のしくみ(T)
- データ解析による心身の理解-基礎(T)
- データ解析による心身の理解-実践・発展(N)
- 人間のとらえかた(T)
- こころとからだのデータサイエンス探究-ステップα(S)
- ヒューマン未来社会の幸福(S)
- 看護学概論(T)
- 道徳教育指導論(T)
- サイエンスコミュニケーション(S)
- データによるこころ・からだの観察(T-S)

News!

令和8年4月

心身健康科学科に通学課程を新設



人間科学部では、通学課程の心身健康科学科の新設を構想中です。

こころとからだの健康を科学的に分析する力を身につけ、ヘルスケア分野や保健医療分野で活躍することを目指します。

1 「こころ」「からだ」「環境・社会」から「ひと」を総合的に捉える教育アプローチ

真の人文理解を基盤に、人々の健康と幸せをテーマとした「ウェルビーイング(よりよく生きる・多様な幸せ)」な社会の実現に貢献する力を養います。

2 AI・ビッグデータを活用した次世代型健康科学の実践

AIやデータサイエンスの技術で個人と社会の健康課題を取り組みます。スタジオでは、VRやウェアラブル端末に触れ、健康情報の収集方法などを修得します。

3 少人数授業や学外での調査実習を通して、社会で役立つ力を身につける

心理系・情報系の資格取得を目指しながら、実践的に学び、医療、ヘルスケア、IT、公共機関などで活躍する人材を育成します。

目指せる資格

- 認定心理士
- 心身健康アドバイザー
- 健康管理士
- データサイエンティスト検定
- DX検定
- 社会調査士
- 統計検定
- ITパスポート(国家資格)
- 基本情報技術者(国家資格)

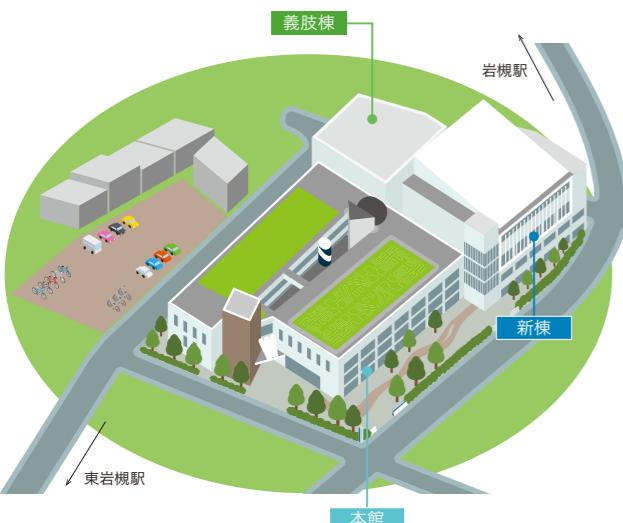
※内容は変更になる場合があります。

Iwatsuki Campus

岩槻キャンパス

保健医療学部看護学科、リハビリテーション学科（理学療法学専攻、義肢装具学専攻）が開設されている岩槻キャンパスは本館、義肢棟、新棟の3つの校舎で構成されています。実習の精度を上げる最新の設備・施設を有し、実践的な学びを後押しします。さいたま市内に所在し、最寄り駅から徒歩圏であることも快適な学生生活を送るうえで魅力です。

- 1 校舎外観
2 ラーニングコモンズ(自習室)
3 屋上運動場(リニューアル工事中)
4 ラウンジA(看護学科教員室前個別指導スペース)
5 屋上庭園(リニューアル工事中)
6 小児・母性実習室
7 基礎・成人実習室
8 基礎医学実習室
9 機能訓練室
10 学食テラス
11 教室
12 図書館
13 評価測定室
14 治療室
15 水浴室
16 高齢者・地域在宅実習室
17 講堂兼体育館
18 学食
19 機械室
20 製作室
21 装着適合室



本学独自のLTD学修(P.8参照)を全学科で実践するため、各学科専攻教員室前や各階にラウンジを設けています。また4年生には国試対策用に専用自習室を確保したり、講義室や実習室なども開放し、教員・学生が一体となってLTD学修を推進しています。



保健医療学部

人間総合科学大学の理念である人間の総合的理解、心身の相関性の理解を身につけ、人を対象とする医療現場で様々な専門知識を統合し、自身や社会、職業上の課題や関心と関連付けて問題解決を図ることのできる能力を養成します。また、病院等医療機関のシステム化に対応するためAI・データサイエンスの基礎力も合わせて修得します。

看護学科 → P.38

患者や周囲の医療従事者などと連携・協働できるコミュニケーション能力を養い、科学的な思考と国際的な視野を持った看護師として、人々を支援できる力を身につけます。病院推薦制度など独自の入試制度も特色の一つです。

定員
60名

学びのポイント
・看護師
・保健師
・基礎看護学
・老年看護学

・小児看護学
・精神看護学
・公衆衛生看護学
・地域・在宅看護学

・母性看護学
・成人看護学

リハビリテーション学科 理学療法学専攻 → P.42

さまざまな分野で活躍する理学療法士となるための知識と技術を養います。各学年2名の理学療法学専門の学年担任を配置して、学生を丁寧にサポート。高いレベルで知識と技術を身につける学修環境が整っています。

定員
40名

学びのポイント
・理学療法士
・スポーツ医学
・生理学
・人間工学

・解剖学
・運動分析
・地域医療
・人間発達学

・作業療法
・義肢装具学

リハビリテーション学科 義肢装具学専攻 → P.46

安全で質の高い義肢装具の製作・適合ができる能力と、保健・医療・福祉の分野で専門的に地域と連携・協働できる能力を養います。科学的思考力と国際的視野をもって幅広く活躍する義肢装具の専門職を養成します。

定員
30名

学びのポイント
・義肢装具士
・スポーツ義肢
・生理学
・運動学

・解剖学
・機構学
・福祉用具
・人間工学

・義肢装具学



看護学科

保健医療学部

学士
看護学



Admission Policy

- 看護に関する学びに関心がある人
- 看護師としての専門知識と技能を身につけたいと希望する人
- 他者との協働によって学びを深め、様々な学修経験を通じて自身の成長に努力できる人
- 心身の健康に関心を払い、看護職として社会に貢献したいと希望する人

看護に必要とされる実践能力と、人として生きる力を育むカリキュラム。

本学科では、2020年度から、3つのポリシーおよび文部科学省の「看護学教育モデル・コア・カリキュラム」を踏まえた新カリキュラムを展開。狙いは、どのような環境・状況にあっても、目の前の人の苦しみ・悲しみを察知し、看護職としての自らの役割を見出し、他者と力を合わせて課題の達成に努力できる能力を育むことです。

看護学科長 高橋 公子 教授



8つの看護領域

看護師は様々な患者さんや疾病・病態に沿った看護の実践が求められており、本学では8つの専門領域を設けて、高度な知識と技術を専門領域ごとに系統的に修得していきます。また、学んだ知識・技術を統合し、科学的に問題を解決する能力や、倫理を含めた総合的な判断能力を養うことも重視しています。



”いのち”を見つめ、慈しむ。

チーム医療の要となる「こころ」と「知識」を身につける。

1 科学的根拠に基づいた専門性と実践、30年以上にわたる信頼と実績



学びから得た知識が現場での看護にしっかりと結びつくことを目指し、理論から実践への学びを系統的に配置。質の高い看護を実践できる能力を養います。開学以来30年以上、実績と信頼を積み重ねて、多くの卒業生が医療の最前線で活躍しています。

2 高いコミュニケーション能力を養うLTD(ディスカッションを通した学び)



関連する職種の人たちと適切に連携・協働できる看護師、保健師を目指し、人間を多面的・総合的に理解し、倫理的な態度で適切な人間関係を築くことができる能力を養います。

3 授与金+入学特別枠の病院奨学生推薦入試



実習病院と密に連携し、充実した臨地実習が行なえるよう配慮しています。実習病院や就職実績病院と連携した独自の入試制度を導入し、意欲ある学生が学びの機会を得られるようにしました。

目指す資格

活躍する未来

病院で患者さんの看護を行うこと以外にも、介護・福祉の業界、訪問看護による自宅での支援、企業のオフィスに設置された医療室での対応、保育園や幼稚園における衛生管理や園児の健康支援、看護師として働いてきた実績を活かした教育活動など、さまざまな活躍の場が広がっています。

看護師

(国家試験受験資格)

国家試験合格率
96.8%

2024年度実績
全国平均 90.1%

その他

保健師国家試験受験資格(選択制)
養護教諭二種免許状★
第一種衛生管理者★
BLS(一次救命処置)修了証(日本救急医学会認定)
NCPR(新生児蘇生法 一次コース)修了証
(日本周産期・新生児医学会認定)
認知症サポーター(オレンジリング取得)
メディシェフ(日本医食促進協会)
認定心理士
看護師等養成所専任教員資格に係る教育に関する科目の開講
★…保健師免許取得後に申請

全国初!

全学科で副専攻を活用して
「認定心理士」も取得可能に

看護師

× 認定心理士

看護師は、患者さんの身体的なケアだけでなく、精神的サポートも非常に重要な役割を担っています。認定心理士としての心理学の基礎知識と技能を持つ看護師は、患者さんの不安やストレスに対する適切な対応を行い、心理的な回復を促すことができるでしょう。看護師が心理学に通じていることは、チーム医療において他の医療スタッフとの円滑なコミュニケーションを助け、患者さんにとっての治療成果を高めることにつながります。

カリキュラム

1 年次	2 年次	3 年次	4 年次																																																																																																																																																																																						
<p>専門性を支える基礎学力とともに、人間の心身を理解し豊かな人間性を養います。</p>	<p>専門科目が増え、保健医療チームの一員としての連帯・協同のあり方など社会的な側面についても学びます。</p>	<p>「小児看護学実習」「老年看護学実習」などの実習科目がスタート。臨地実習によって、実践に結びつけます。</p>	<p>これまでの学びを統合し、個々の興味、関心に応じて看護の探求・発展を目指します。</p>																																																																																																																																																																																						
<p>1 年次</p> <table border="1"> <tr><td>コア</td></tr> <tr><td>○心身健康科学(前期)</td></tr> <tr><td>○生命倫理(前期)</td></tr> <tr><td>人間の理解</td></tr> <tr><td>●スポーツと健康(前期)</td></tr> <tr><td>○心理学(後期)</td></tr> <tr><td>●人間工学(後期)</td></tr> <tr><td>●美術(後期)</td></tr> <tr><td>他者との共生</td></tr> <tr><td>○コミュニケーション演習(前期)</td></tr> <tr><td>●生活文化論(前期)</td></tr> <tr><td>○人間関係論(後期)</td></tr> <tr><td>○コンピューター入門Ⅰ(後期)</td></tr> <tr><td>○AI・データ活用リテラシー(後期)</td></tr> <tr><td>●岩槻の文化とともにづくり(後期)</td></tr> <tr><td>●ベトナム語(後期)</td></tr> <tr><td>専門的能力の基礎</td></tr> <tr><td>○大学生入門</td></tr> <tr><td>○職業とキャリア形成(前期)</td></tr> <tr><td>●生物学基礎(前期)</td></tr> <tr><td>●化学基礎(前期)</td></tr> <tr><td>●物理学基礎(前期)</td></tr> <tr><td>●論理的思考と表現法(後期)</td></tr> <tr><td>●数学基礎(後期)</td></tr> <tr><td>●英語基礎(後期)</td></tr> <tr><td>人間の理解</td></tr> <tr><td>○生理学Ⅰ(前期)</td></tr> <tr><td>○生理学Ⅱ(前期)</td></tr> <tr><td>○解剖学Ⅰ(前期)</td></tr> <tr><td>○解剖学Ⅱ(前期)</td></tr> <tr><td>○生理学Ⅲ(後期)</td></tr> <tr><td>○生化学(後期)</td></tr> <tr><td>○栄養学(後期)</td></tr> <tr><td>専門的能力の修得Ⅰ (健康とその障害を抱える人々への支援)</td></tr> <tr><td>○病理学概論(後期)</td></tr> <tr><td>○疾病と治療総論(前期)</td></tr> <tr><td>○疾病と治療Ⅰ(後期)</td></tr> <tr><td>○薬理学(後期)</td></tr> <tr><td>○微生物学(後期)</td></tr> <tr><td>専門的能力の修得Ⅱ (専門的能力の基礎)</td></tr> <tr><td>○看護学原論(前期)</td></tr> <tr><td>○看護共通技術Ⅰ(前期)</td></tr> <tr><td>○看護基礎技術Ⅰ(前期)</td></tr> <tr><td>○看護共通技術Ⅱ(後期)</td></tr> <tr><td>○看護基礎技術Ⅱ(後期)</td></tr> <tr><td>○看護基礎技術Ⅲ(後期)</td></tr> <tr><td>専門的能力の修得Ⅲ (対象の特殊性に即した専門的能力)</td></tr> <tr><td>○慢性期看護学概論(後期)</td></tr> <tr><td>○急性期看護学概論(後期)</td></tr> <tr><td>○母性看護学概論(後期)</td></tr> <tr><td>○老年看護学概論(後期)</td></tr> <tr><td>○精神期看護学概論(後期)</td></tr> <tr><td>専門的能力の修得Ⅳ (医療施設における実践力)</td></tr> <tr><td>○基礎看護学実習Ⅰ(後期)</td></tr> <tr><td>専門的能力の発展</td></tr> <tr><td>●代替医療論</td></tr> <tr><td>共通科目</td></tr> <tr><td>●国際研修</td></tr> <tr><td>●ボランティア活動</td></tr> </table>	コア	○心身健康科学(前期)	○生命倫理(前期)	人間の理解	●スポーツと健康(前期)	○心理学(後期)	●人間工学(後期)	●美術(後期)	他者との共生	○コミュニケーション演習(前期)	●生活文化論(前期)	○人間関係論(後期)	○コンピューター入門Ⅰ(後期)	○AI・データ活用リテラシー(後期)	●岩槻の文化とともにづくり(後期)	●ベトナム語(後期)	専門的能力の基礎	○大学生入門	○職業とキャリア形成(前期)	●生物学基礎(前期)	●化学基礎(前期)	●物理学基礎(前期)	●論理的思考と表現法(後期)	●数学基礎(後期)	●英語基礎(後期)	人間の理解	○生理学Ⅰ(前期)	○生理学Ⅱ(前期)	○解剖学Ⅰ(前期)	○解剖学Ⅱ(前期)	○生理学Ⅲ(後期)	○生化学(後期)	○栄養学(後期)	専門的能力の修得Ⅰ (健康とその障害を抱える人々への支援)	○病理学概論(後期)	○疾病と治療総論(前期)	○疾病と治療Ⅰ(後期)	○薬理学(後期)	○微生物学(後期)	専門的能力の修得Ⅱ (専門的能力の基礎)	○看護学原論(前期)	○看護共通技術Ⅰ(前期)	○看護基礎技術Ⅰ(前期)	○看護共通技術Ⅱ(後期)	○看護基礎技術Ⅱ(後期)	○看護基礎技術Ⅲ(後期)	専門的能力の修得Ⅲ (対象の特殊性に即した専門的能力)	○慢性期看護学概論(後期)	○急性期看護学概論(後期)	○母性看護学概論(後期)	○老年看護学概論(後期)	○精神期看護学概論(後期)	専門的能力の修得Ⅳ (医療施設における実践力)	○基礎看護学実習Ⅰ(後期)	専門的能力の発展	●代替医療論	共通科目	●国際研修	●ボランティア活動	<p>2 年次</p> <table border="1"> <tr><td>コア</td></tr> <tr><td>○ヒューマンⅠ(前期)</td></tr> <tr><td>人間の理解</td></tr> <tr><td>●体育概論(前期)</td></tr> <tr><td>他者との共生</td></tr> <tr><td>○家族社会学(前期)</td></tr> <tr><td>○法学(前期)</td></tr> <tr><td>●英会話(前期)</td></tr> <tr><td>●コンピューター入門Ⅱ(後期)</td></tr> <tr><td>○医療英語(後期)</td></tr> <tr><td>●ベトナム語(後期)</td></tr> <tr><td>専門的能力の基礎</td></tr> <tr><td>●統計学(後期)</td></tr> <tr><td>専門的能力の修得Ⅰ (健康とその障害を抱える人々への支援)</td></tr> <tr><td>○疾病と治療Ⅱ(前期)</td></tr> <tr><td>○疾病と治療Ⅲ(前期)</td></tr> <tr><td>○疾病と治療Ⅳ(前期)</td></tr> <tr><td>○精神科学(前期)</td></tr> <tr><td>●薬と健康(前期)</td></tr> <tr><td>●老年医学(前期)</td></tr> <tr><td>●環境と健康(後期)</td></tr> <tr><td>●生活福祉論(前期)</td></tr> <tr><td>○疫学Ⅰ(後期)</td></tr> <tr><td>専門的能力の修得Ⅱ (専門的能力の基礎)</td></tr> <tr><td>○在宅看護学概論(前期)</td></tr> <tr><td>○地域看護学概論(前期)</td></tr> <tr><td>○家族看護学(前期)</td></tr> <tr><td>○在宅看護援助論Ⅰ</td></tr> <tr><td>○在宅看護援助論Ⅱ(後期)</td></tr> <tr><td>○地域看護活動論(後期)</td></tr> <tr><td>○看護の展開(前期)</td></tr> <tr><td>専門的能力の修得Ⅲ (対象の特殊性に即した専門的能力)</td></tr> <tr><td>○母性看護援助論Ⅰ(前期)</td></tr> <tr><td>○老年看護援助論Ⅰ(前期)</td></tr> <tr><td>●リハビリテーション看護論(前期)</td></tr> <tr><td>○母性看護援助論Ⅱ(後期)</td></tr> <tr><td>○老年看護援助論Ⅱ(後期)</td></tr> <tr><td>○慢性期看護援助論Ⅰ(前期)</td></tr> <tr><td>○慢性期看護援助論Ⅱ(後期)</td></tr> <tr><td>○急性期看護援助論Ⅰ(前期)</td></tr> <tr><td>○急性期看護援助論Ⅱ(後期)</td></tr> <tr><td>○小児看護援助論Ⅰ(前期)</td></tr> <tr><td>○小児看護援助論Ⅱ(後期)</td></tr> <tr><td>○精神看護援助論Ⅰ(前期)</td></tr> <tr><td>○精神看護援助論Ⅱ(後期)</td></tr> <tr><td>専門的能力の修得Ⅳ (医療施設における実践力)</td></tr> <tr><td>○基礎看護学実習Ⅱ(前期)</td></tr> <tr><td>専門的能力の修得Ⅴ (地域における実践力)</td></tr> <tr><td>○在宅看護学実習</td></tr> <tr><td>専門的能力の発展</td></tr> <tr><td>●代替医療論</td></tr> <tr><td>共通科目</td></tr> <tr><td>●国際研修</td></tr> <tr><td>●ボランティア活動</td></tr> </table>	コア	○ヒューマンⅠ(前期)	人間の理解	●体育概論(前期)	他者との共生	○家族社会学(前期)	○法学(前期)	●英会話(前期)	●コンピューター入門Ⅱ(後期)	○医療英語(後期)	●ベトナム語(後期)	専門的能力の基礎	●統計学(後期)	専門的能力の修得Ⅰ (健康とその障害を抱える人々への支援)	○疾病と治療Ⅱ(前期)	○疾病と治療Ⅲ(前期)	○疾病と治療Ⅳ(前期)	○精神科学(前期)	●薬と健康(前期)	●老年医学(前期)	●環境と健康(後期)	●生活福祉論(前期)	○疫学Ⅰ(後期)	専門的能力の修得Ⅱ (専門的能力の基礎)	○在宅看護学概論(前期)	○地域看護学概論(前期)	○家族看護学(前期)	○在宅看護援助論Ⅰ	○在宅看護援助論Ⅱ(後期)	○地域看護活動論(後期)	○看護の展開(前期)	専門的能力の修得Ⅲ (対象の特殊性に即した専門的能力)	○母性看護援助論Ⅰ(前期)	○老年看護援助論Ⅰ(前期)	●リハビリテーション看護論(前期)	○母性看護援助論Ⅱ(後期)	○老年看護援助論Ⅱ(後期)	○慢性期看護援助論Ⅰ(前期)	○慢性期看護援助論Ⅱ(後期)	○急性期看護援助論Ⅰ(前期)	○急性期看護援助論Ⅱ(後期)	○小児看護援助論Ⅰ(前期)	○小児看護援助論Ⅱ(後期)	○精神看護援助論Ⅰ(前期)	○精神看護援助論Ⅱ(後期)	専門的能力の修得Ⅳ (医療施設における実践力)	○基礎看護学実習Ⅱ(前期)	専門的能力の修得Ⅴ (地域における実践力)	○在宅看護学実習	専門的能力の発展	●代替医療論	共通科目	●国際研修	●ボランティア活動	<p>3 年次</p> <table border="1"> <tr><td>コア</td></tr> <tr><td>○ヒューマンⅡ(前期)</td></tr> <tr><td>他者との共生</td></tr> <tr><td>●日本国憲法(前期)</td></tr> <tr><td>●英語文献購読(後期)</td></tr> <tr><td>●ベトナム語(後期)</td></tr> <tr><td>専門的能力の修得Ⅰ (健康とその障害を抱える人々への支援)</td></tr> <tr><td>○保健医療福祉行政論(前期)</td></tr> <tr><td>○社会保障制度論(前期)</td></tr> <tr><td>☆●保健統計学(前期)</td></tr> <tr><td>専門的能力の基礎</td></tr> <tr><td>●国際保健医療論(前期)</td></tr> <tr><td>○保健医療福祉専門職連携論(前期)</td></tr> <tr><td>専門的能力の修得Ⅱ (専門的能力の基礎)</td></tr> <tr><td>●感染看護論(前期)</td></tr> <tr><td>●リエゾン看護論(前期)</td></tr> <tr><td>専門的能力の修得Ⅲ (対象の特殊性に即した専門的能力)</td></tr> <tr><td>☆公衆衛生看護技術論(前期)</td></tr> <tr><td>☆公衆衛生看護活動論(前期)</td></tr> <tr><td>☆公衆衛生看護管理論(前期)</td></tr> <tr><td>☆●学校看護論(前期)</td></tr> <tr><td>☆●産業看護論(前期)</td></tr> <tr><td>●クリティカルケア論(前期)</td></tr> <tr><td>●緩和ケア論(前期)</td></tr> <tr><td>●認知症ケア論(前期)</td></tr> <tr><td>●遺伝看護(前期)</td></tr> <tr><td>専門的能力の修得Ⅳ (医療施設における実践力)</td></tr> <tr><td>○慢性期看護学実習</td></tr> <tr><td>○急性期看護学実習</td></tr> <tr><td>○小児看護学実習</td></tr> <tr><td>○母性看護学実習</td></tr> <tr><td>○老年看護学実習Ⅱ</td></tr> <tr><td>○精神看護学実習</td></tr> <tr><td>専門的能力の修得Ⅴ (地域における実践力)</td></tr> <tr><td>○在宅看護学実習</td></tr> <tr><td>専門的能力の発展</td></tr> <tr><td>●代替医療論</td></tr> <tr><td>共通科目</td></tr> <tr><td>●国際研修</td></tr> <tr><td>●ボランティア活動</td></tr> </table>	コア	○ヒューマンⅡ(前期)	他者との共生	●日本国憲法(前期)	●英語文献購読(後期)	●ベトナム語(後期)	専門的能力の修得Ⅰ (健康とその障害を抱える人々への支援)	○保健医療福祉行政論(前期)	○社会保障制度論(前期)	☆●保健統計学(前期)	専門的能力の基礎	●国際保健医療論(前期)	○保健医療福祉専門職連携論(前期)	専門的能力の修得Ⅱ (専門的能力の基礎)	●感染看護論(前期)	●リエゾン看護論(前期)	専門的能力の修得Ⅲ (対象の特殊性に即した専門的能力)	☆公衆衛生看護技術論(前期)	☆公衆衛生看護活動論(前期)	☆公衆衛生看護管理論(前期)	☆●学校看護論(前期)	☆●産業看護論(前期)	●クリティカルケア論(前期)	●緩和ケア論(前期)	●認知症ケア論(前期)	●遺伝看護(前期)	専門的能力の修得Ⅳ (医療施設における実践力)	○慢性期看護学実習	○急性期看護学実習	○小児看護学実習	○母性看護学実習	○老年看護学実習Ⅱ	○精神看護学実習	専門的能力の修得Ⅴ (地域における実践力)	○在宅看護学実習	専門的能力の発展	●代替医療論	共通科目	●国際研修	●ボランティア活動	<p>4 年次</p> <table border="1"> <tr><td>コア</td></tr> <tr><td>○ヒューマンⅢ(後期)</td></tr> <tr><td>他者との共生</td></tr> <tr><td>●国際文化論(前期)</td></tr> <tr><td>●ベトナム語(後期)</td></tr> <tr><td>専門的能力の修得Ⅰ (健康とその障害を抱える人々への支援)</td></tr> <tr><td>●障害者福祉論(前期)</td></tr> <tr><td>☆●疫学Ⅱ(前期)</td></tr> <tr><td>専門的能力の修得Ⅱ (専門的能力の基礎)</td></tr> <tr><td>☆○健康看護論(前期)</td></tr> <tr><td>●セクショアリティ論(前期)</td></tr> <tr><td>専門的能力の修得Ⅲ (地域における実践力)</td></tr> <tr><td>○統合実習</td></tr> <tr><td>☆公衆衛生看護学実習Ⅰ</td></tr> <tr><td>☆公衆衛生看護学実習Ⅱ</td></tr> <tr><td>専門的能力の発展</td></tr> <tr><td>○看護管理・看護情報学(前期)</td></tr> <tr><td>☆●健康危機管理論(前期)</td></tr> <tr><td>●看護国際協力論(前期)</td></tr> <tr><td>●災害と看護活動(前期)</td></tr> <tr><td>●領域別専門看護学演習(後期)</td></tr> <tr><td>●医療経営論(前期)</td></tr> <tr><td>●看護教育論(前期)</td></tr> <tr><td>●看護研究Ⅱ</td></tr> <tr><td>●看護研究Ⅲ(後期)</td></tr> <tr><td>●代替医療論</td></tr> <tr><td>共通科目</td></tr> <tr><td>●国際研修</td></tr> <tr><td>●ボランティア活動</td></tr> </table>	コア	○ヒューマンⅢ(後期)	他者との共生	●国際文化論(前期)	●ベトナム語(後期)	専門的能力の修得Ⅰ (健康とその障害を抱える人々への支援)	●障害者福祉論(前期)	☆●疫学Ⅱ(前期)	専門的能力の修得Ⅱ (専門的能力の基礎)	☆○健康看護論(前期)	●セクショアリティ論(前期)	専門的能力の修得Ⅲ (地域における実践力)	○統合実習	☆公衆衛生看護学実習Ⅰ	☆公衆衛生看護学実習Ⅱ	専門的能力の発展	○看護管理・看護情報学(前期)	☆●健康危機管理論(前期)	●看護国際協力論(前期)	●災害と看護活動(前期)	●領域別専門看護学演習(後期)	●医療経営論(前期)	●看護教育論(前期)	●看護研究Ⅱ	●看護研究Ⅲ(後期)	●代替医療論	共通科目	●国際研修	●ボランティア活動
コア																																																																																																																																																																																									
○心身健康科学(前期)																																																																																																																																																																																									
○生命倫理(前期)																																																																																																																																																																																									
人間の理解																																																																																																																																																																																									
●スポーツと健康(前期)																																																																																																																																																																																									
○心理学(後期)																																																																																																																																																																																									
●人間工学(後期)																																																																																																																																																																																									
●美術(後期)																																																																																																																																																																																									
他者との共生																																																																																																																																																																																									
○コミュニケーション演習(前期)																																																																																																																																																																																									
●生活文化論(前期)																																																																																																																																																																																									
○人間関係論(後期)																																																																																																																																																																																									
○コンピューター入門Ⅰ(後期)																																																																																																																																																																																									
○AI・データ活用リテラシー(後期)																																																																																																																																																																																									
●岩槻の文化とともにづくり(後期)																																																																																																																																																																																									
●ベトナム語(後期)																																																																																																																																																																																									
専門的能力の基礎																																																																																																																																																																																									
○大学生入門																																																																																																																																																																																									
○職業とキャリア形成(前期)																																																																																																																																																																																									
●生物学基礎(前期)																																																																																																																																																																																									
●化学基礎(前期)																																																																																																																																																																																									
●物理学基礎(前期)																																																																																																																																																																																									
●論理的思考と表現法(後期)																																																																																																																																																																																									
●数学基礎(後期)																																																																																																																																																																																									
●英語基礎(後期)																																																																																																																																																																																									
人間の理解																																																																																																																																																																																									
○生理学Ⅰ(前期)																																																																																																																																																																																									
○生理学Ⅱ(前期)																																																																																																																																																																																									
○解剖学Ⅰ(前期)																																																																																																																																																																																									
○解剖学Ⅱ(前期)																																																																																																																																																																																									
○生理学Ⅲ(後期)																																																																																																																																																																																									
○生化学(後期)																																																																																																																																																																																									
○栄養学(後期)																																																																																																																																																																																									
専門的能力の修得Ⅰ (健康とその障害を抱える人々への支援)																																																																																																																																																																																									
○病理学概論(後期)																																																																																																																																																																																									
○疾病と治療総論(前期)																																																																																																																																																																																									
○疾病と治療Ⅰ(後期)																																																																																																																																																																																									
○薬理学(後期)																																																																																																																																																																																									
○微生物学(後期)																																																																																																																																																																																									
専門的能力の修得Ⅱ (専門的能力の基礎)																																																																																																																																																																																									
○看護学原論(前期)																																																																																																																																																																																									
○看護共通技術Ⅰ(前期)																																																																																																																																																																																									
○看護基礎技術Ⅰ(前期)																																																																																																																																																																																									
○看護共通技術Ⅱ(後期)																																																																																																																																																																																									
○看護基礎技術Ⅱ(後期)																																																																																																																																																																																									
○看護基礎技術Ⅲ(後期)																																																																																																																																																																																									
専門的能力の修得Ⅲ (対象の特殊性に即した専門的能力)																																																																																																																																																																																									
○慢性期看護学概論(後期)																																																																																																																																																																																									
○急性期看護学概論(後期)																																																																																																																																																																																									
○母性看護学概論(後期)																																																																																																																																																																																									
○老年看護学概論(後期)																																																																																																																																																																																									
○精神期看護学概論(後期)																																																																																																																																																																																									
専門的能力の修得Ⅳ (医療施設における実践力)																																																																																																																																																																																									
○基礎看護学実習Ⅰ(後期)																																																																																																																																																																																									
専門的能力の発展																																																																																																																																																																																									
●代替医療論																																																																																																																																																																																									
共通科目																																																																																																																																																																																									
●国際研修																																																																																																																																																																																									
●ボランティア活動																																																																																																																																																																																									
コア																																																																																																																																																																																									
○ヒューマンⅠ(前期)																																																																																																																																																																																									
人間の理解																																																																																																																																																																																									
●体育概論(前期)																																																																																																																																																																																									
他者との共生																																																																																																																																																																																									
○家族社会学(前期)																																																																																																																																																																																									
○法学(前期)																																																																																																																																																																																									
●英会話(前期)																																																																																																																																																																																									
●コンピューター入門Ⅱ(後期)																																																																																																																																																																																									
○医療英語(後期)																																																																																																																																																																																									
●ベトナム語(後期)																																																																																																																																																																																									
専門的能力の基礎																																																																																																																																																																																									
●統計学(後期)																																																																																																																																																																																									
専門的能力の修得Ⅰ (健康とその障害を抱える人々への支援)																																																																																																																																																																																									
○疾病と治療Ⅱ(前期)																																																																																																																																																																																									
○疾病と治療Ⅲ(前期)																																																																																																																																																																																									
○疾病と治療Ⅳ(前期)																																																																																																																																																																																									
○精神科学(前期)																																																																																																																																																																																									
●薬と健康(前期)																																																																																																																																																																																									
●老年医学(前期)																																																																																																																																																																																									
●環境と健康(後期)																																																																																																																																																																																									
●生活福祉論(前期)																																																																																																																																																																																									
○疫学Ⅰ(後期)																																																																																																																																																																																									
専門的能力の修得Ⅱ (専門的能力の基礎)																																																																																																																																																																																									
○在宅看護学概論(前期)																																																																																																																																																																																									
○地域看護学概論(前期)																																																																																																																																																																																									
○家族看護学(前期)																																																																																																																																																																																									
○在宅看護援助論Ⅰ																																																																																																																																																																																									
○在宅看護援助論Ⅱ(後期)																																																																																																																																																																																									
○地域看護活動論(後期)																																																																																																																																																																																									
○看護の展開(前期)																																																																																																																																																																																									
専門的能力の修得Ⅲ (対象の特殊性に即した専門的能力)																																																																																																																																																																																									
○母性看護援助論Ⅰ(前期)																																																																																																																																																																																									
○老年看護援助論Ⅰ(前期)																																																																																																																																																																																									
●リハビリテーション看護論(前期)																																																																																																																																																																																									
○母性看護援助論Ⅱ(後期)																																																																																																																																																																																									
○老年看護援助論Ⅱ(後期)																																																																																																																																																																																									
○慢性期看護援助論Ⅰ(前期)																																																																																																																																																																																									
○慢性期看護援助論Ⅱ(後期)																																																																																																																																																																																									
○急性期看護援助論Ⅰ(前期)																																																																																																																																																																																									
○急性期看護援助論Ⅱ(後期)																																																																																																																																																																																									
○小児看護援助論Ⅰ(前期)																																																																																																																																																																																									
○小児看護援助論Ⅱ(後期)																																																																																																																																																																																									
○精神看護援助論Ⅰ(前期)																																																																																																																																																																																									
○精神看護援助論Ⅱ(後期)																																																																																																																																																																																									
専門的能力の修得Ⅳ (医療施設における実践力)																																																																																																																																																																																									
○基礎看護学実習Ⅱ(前期)																																																																																																																																																																																									
専門的能力の修得Ⅴ (地域における実践力)																																																																																																																																																																																									
○在宅看護学実習																																																																																																																																																																																									
専門的能力の発展																																																																																																																																																																																									
●代替医療論																																																																																																																																																																																									
共通科目																																																																																																																																																																																									
●国際研修																																																																																																																																																																																									
●ボランティア活動																																																																																																																																																																																									
コア																																																																																																																																																																																									
○ヒューマンⅡ(前期)																																																																																																																																																																																									
他者との共生																																																																																																																																																																																									
●日本国憲法(前期)																																																																																																																																																																																									
●英語文献購読(後期)																																																																																																																																																																																									
●ベトナム語(後期)																																																																																																																																																																																									
専門的能力の修得Ⅰ (健康とその障害を抱える人々への支援)																																																																																																																																																																																									
○保健医療福祉行政論(前期)																																																																																																																																																																																									
○社会保障制度論(前期)																																																																																																																																																																																									
☆●保健統計学(前期)																																																																																																																																																																																									
専門的能力の基礎																																																																																																																																																																																									
●国際保健医療論(前期)																																																																																																																																																																																									
○保健医療福祉専門職連携論(前期)																																																																																																																																																																																									
専門的能力の修得Ⅱ (専門的能力の基礎)																																																																																																																																																																																									
●感染看護論(前期)																																																																																																																																																																																									
●リエゾン看護論(前期)																																																																																																																																																																																									
専門的能力の修得Ⅲ (対象の特殊性に即した専門的能力)																																																																																																																																																																																									
☆公衆衛生看護技術論(前期)																																																																																																																																																																																									
☆公衆衛生看護活動論(前期)																																																																																																																																																																																									
☆公衆衛生看護管理論(前期)																																																																																																																																																																																									
☆●学校看護論(前期)																																																																																																																																																																																									
☆●産業看護論(前期)																																																																																																																																																																																									
●クリティカルケア論(前期)																																																																																																																																																																																									
●緩和ケア論(前期)																																																																																																																																																																																									
●認知症ケア論(前期)																																																																																																																																																																																									
●遺伝看護(前期)																																																																																																																																																																																									
専門的能力の修得Ⅳ (医療施設における実践力)																																																																																																																																																																																									
○慢性期看護学実習																																																																																																																																																																																									
○急性期看護学実習																																																																																																																																																																																									
○小児看護学実習																																																																																																																																																																																									
○母性看護学実習																																																																																																																																																																																									
○老年看護学実習Ⅱ																																																																																																																																																																																									
○精神看護学実習																																																																																																																																																																																									
専門的能力の修得Ⅴ (地域における実践力)																																																																																																																																																																																									
○在宅看護学実習																																																																																																																																																																																									
専門的能力の発展																																																																																																																																																																																									
●代替医療論																																																																																																																																																																																									
共通科目																																																																																																																																																																																									
●国際研修																																																																																																																																																																																									
●ボランティア活動																																																																																																																																																																																									
コア																																																																																																																																																																																									
○ヒューマンⅢ(後期)																																																																																																																																																																																									
他者との共生																																																																																																																																																																																									
●国際文化論(前期)																																																																																																																																																																																									
●ベトナム語(後期)																																																																																																																																																																																									
専門的能力の修得Ⅰ (健康とその障害を抱える人々への支援)																																																																																																																																																																																									
●障害者福祉論(前期)																																																																																																																																																																																									
☆●疫学Ⅱ(前期)																																																																																																																																																																																									
専門的能力の修得Ⅱ (専門的能力の基礎)																																																																																																																																																																																									
☆○健康看護論(前期)																																																																																																																																																																																									
●セクショアリティ論(前期)																																																																																																																																																																																									
専門的能力の修得Ⅲ (地域における実践力)																																																																																																																																																																																									
○統合実習																																																																																																																																																																																									
☆公衆衛生看護学実習Ⅰ																																																																																																																																																																																									
☆公衆衛生看護学実習Ⅱ																																																																																																																																																																																									
専門的能力の発展																																																																																																																																																																																									
○看護管理・看護情報学(前期)																																																																																																																																																																																									
☆●健康危機管理論(前期)																																																																																																																																																																																									
●看護国際協力論(前期)																																																																																																																																																																																									
●災害と看護活動(前期)																																																																																																																																																																																									
●領域別専門看護学演習(後期)																																																																																																																																																																																									
●医療経営論(前期)																																																																																																																																																																																									
●看護教育論(前期)																																																																																																																																																																																									
●看護研究Ⅱ																																																																																																																																																																																									
●看護研究Ⅲ(後期)																																																																																																																																																																																									
●代替医療論																																																																																																																																																																																									
共通科目																																																																																																																																																																																									
●国際研修																																																																																																																																																																																									
●ボランティア活動																																																																																																																																																																																									
<p>○は必修科目 / ●は選択科目 ☆は保健師選択コース必修科目</p> <p>※カリキュラムは2025年4月現在のものであります。変更の可能性があります。</p> <p>※看護師等養成所専任教員資格取得に係る教育に関する科目は2026年4月以降に開講予定です。</p>																																																																																																																																																																																									
<p>シラバス検索</p> 																																																																																																																																																																																									

Pick up 授業

看護基礎技術

バイタルサイン測定、注射、シーツ交換、車椅子移乗やベッド上のケアなど看護師の役割として欠かせない援助技術を基本から一つずつ実践的に学び、身につけていきます。



在宅看護学実習

在宅療養の利用者様の理解を深め、子どもから高齢者まで、幅広い対象者と疾患について学び、在宅看護に必要な知識・技術・態度を身に付けています。



公衆衛生看護學實習

保健師の資格取得を目指す科目。「幼児期の健康診査および育児相談」など、個人、家庭、集団、地域の健康保持や災害対策などに必要な保健師としての役割とスキルを学びます。



栄養学

生命活動維持のための栄養の役割や、ライフステージ別の栄養摂取について学びます。また、メディシェフの資格習得に向けた医療・栄養に関する知識を総合的に学びます。



習レポート

保健医療学部 看護学科 3年 鷹栖 遥萌さん 埼玉県立大宮南高等学校出身

知識を実践する難しさを経験し、大きな成長を得られた。

講義で習得したコミュニケーション技術を実習で応用することができました。一方で、患者さんと直接関わる中で、これまで学んできた援助方法を実践することの難しさを痛感。しかし、実習先の看護師や医師の方々や仲間からのサポートを受け、多くの学びと成長を得ることができました。この経験は、総合実習や将来の臨床現場でも必ず役立つと確信しています。



二年生実習先

【病院】丸山記念総合病院/越谷市立病院/草加市立病院/埼玉県済生会加須病院/柏厚生総合病院/春日部市立医療センター/久喜病院
【保育園】さいたま市内の保育園【介護老人保健施設】良宝園/グリーンビレッジ安行他【訪問看護ステーション】鳩ヶ谷訪問看護ステーション
【健所】【市町村】埼玉県内市町村保健センター【学校】さいたま市および蓮田市の小学校・中学校・高校他



計画性や冷静な判断力が身につき成長を実感

保健医療学部 看護学科 3 年
矢作 ひなのさく

埼玉県立越ヶ谷高等学校出身

看護師国家試験の高い合格率に加えて、自宅からの近さ、そして学業と私生活の両立が可能で充実した学生生活を送ると考え、人間総合科学大学を選びました。入学してから成長したと感じるのは、計画性を身につけられたこと。例えば、看護記録の作成では、計画性や順序立てて考えることが重要ですが、以前の自分であれば上手く対応できなかっただように思います。今では冷静に対処できるようになり、授業で看護記録を作成する度、自身の成長を実感しています。また、看護学科は少人数制で先生との距離が近く、分からなきがあればすぐに質問や相談できることも魅力で、安心して勉強に取り組むことができます。今後は、看護師国家試験の合格を目標に、就職を希望する病院を具体的に定めることで、学習へのモチベーションを高めていきたいです。

	MON	TUE	WED	THU	FRI
1			小兒看護 援助論II	國際看護論	
2	慢性期 看護援助論II		小兒看護 援助論II	精神看護 援助論II	
3	医療英語	疫学I	老年看護 援助論II	母性看護 援助論II	在宅看護 援助論II
4	環境と健康	在宅看護 援助論II	老年看護 援助論II	地域看護活動論	老年看護 援助論II
5				地域看護活動論	



シラバス検索

理学療法学専攻

保健医療学部リハビリテーション学科

学士 理学療法学



Admission Policy

- リハビリテーション及び理学療法学に関する学びに関心がある人
- 理学療法士としての専門知識と技術を身につけたいと希望する人
- 他者との協働によって学びを深め、様々な学修経験を通じて自身の成長に努力できる人
- 心身の健康に関心を払い、理学療法士として社会に貢献したいと希望する人

理学療法士(PT)を目指す皆さんを 教員は全員で応援します。

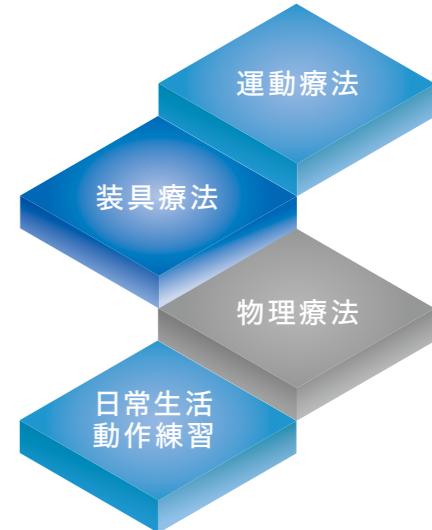
理学療法士(Physical Therapist,PT)になるには、大学4年間の勉強の後に国家試験に合格する必要があります。そのためには大学で知識、技術を積み重ね応用できることが大事です。大学では高校までの勉強とは違って主体的に学修する姿勢を身につけてください。教員は皆さんを応援、指導します。専門家として成長できるよう共に努力しましょう。

リハビリテーション学科長 理学療法学専攻 柴田 雅祥 教授



理学療法士 とは？

病気、けが、高齢などによって運動機能が低下した人に対し、
基本的な動作能力の回復や維持を図る専門家。
日常生活の自立を目指し、理学療法を用いて治療や支援を行います。



30年以上の理学療法教育実績。

卒業生と先輩が学びをサポート。

1 学年40名の きめ細かい指導体制



各科目履修に対する指導をはじめ、各学年の理学療法学総合演習や異なる学年の学生間で行う学修など、4年間を通じてきめ細かな指導体制をとっています。それによって、プロフェッショナルとして必要な能力や実践力を丁寧に育てています。

2 他分野の専門家および 地域と連携できる 社会性を養う



卒業後を見据え、保健・医療・福祉分野の専門職や地域と連携・協働できる能力を養います。対象者が社会参加するための環境整備や地域サービス、関連機器などへの理解も深めます。

3 医療からプロスポーツ 選手にも対応できる 実践能力を目指します



段階的なカリキュラムを通して、さまざまな運動機能障害に対応できる疾患別の治療学を学びます。実習地として多くの医療機関が確保されており、実践的な学びを体験できます。

目指す資格

理学療法士 (国家試験受験資格)

国家試験合格率
92.5%

2024年度実績
全国平均 89.6%

活躍する未来

理学療法士の需要は、日本の高齢化率のさらなる上昇に伴い、高まっていくと考えられています。今後の医療は、病気になったから病院に行くといった「治す医療」だけでなく、高齢者の「QOL(Quality of Life)」といった「健康維持・予防医療」の分野へも拡大していくことから活躍の場も広がっています。

その他

スポーツ医学検定
福祉住環境コーディネーター
認定心理士

全国初!

全学科で副専攻を活用して
「認定心理士」も取得可能に

理学療法士 × 認定心理士

理学療法士は、身体機能の回復や向上を支援しますが、心理学の知識を持つことで患者さんのモチベーションの向上にも寄与できます。患者さんが自己効力感を持ってリハビリに取り組めるよう、ポジティブな関係性の構築や目標設定の支援ができる理学療法士は、身体だけでなく心の健康にも貢献する専門職と言えます。

カリキュラム

1年次		2年次		3年次		4年次	
基礎	専門基礎	基礎	専門基礎	基礎	専門基礎	基礎	専門
コア	コア	コア	コア	コア	コア	コア	コア
○心身健康科学(前期)	○ヒューマンI(前期)	○ヒューマンII(前期)	○ヒューマンIII(前期)	○保健医療学総合演習I(前期)	○保健医療学総合演習II(前期)	○保健医療学総合演習III(前期)	○保健医療学総合演習IV(前期)
○生命倫理(前期)	○人間の理解	○他者との共生	○他者との共生	○教育学(前期)	○国際保健医療論(前期)	○理学療法学総合演習V(後期)	○理学療法学特論I(後期)
●スポーツと健康(前期)	●心理学(後期)	●ベトナム語	●英語文献講読(後期)	●国際保健医療福祉専門職連携論(前期)	●国際保健医療論(前期)	●生体計測と運動分析(前期)	●卒業研究I(後期)
●美術(後期)	●コミュニケーション演習(前期)	●専門的能力の基礎	●専門的能力の修得	●専門的能力の基礎	●専門的能力の修得	●専門的能力の修得	●国際研究
●人間関係論(前期)	●法学(前期)	●人間発達学(前期)	●運動学実習(前期)	●病理学(前期)	●内科学(前期)	●神経内科学I(前期)	●ボランティア活動
●コンピューター入門(前期)	●倫理学(後期)	●英会話(後期)	●骨関節系理学療法学演習(前期)	●整形外科学(前期)	●神経外科学(前期)	●緩和医療学(前期)	
●国際文化論(後期)	●岩槻の文化とともに(後期)	●英会話(後期)	●骨関節系理学療法学演習(前期)	●人間工学(前期)	●栄養学(後期)	●神経系理学療法学演習(前期)	
●AI・データ活用リテラシー(後期)	●AI・データ活用リテラシー(後期)	●ベトナム語	●骨関節系理学療法学演習(前期)	●栄養学(後期)	●小児理学療法学(前期)	●小児理学療法学演習(前期)	
●専門的能力の基礎	●専門的能力の修得	●専門的能力の基礎	●専門的能力の修得	●精神科学(後期)	●小児理学療法学(前期)	●急性期理学療法学(前期)	
○職業とキャリア形成(前期)	○生理学I(前期)	○生理学II(前期)	○解剖学I(前期)	●臨床心理学(後期)	○小児理学療法学演習(前期)	●スポート理学療法学(前期)	
○論理的思考と表現法(前期)	○生理学III(後期)	○解剖学II(後期)	○リハビリテーション概論(前期)	○消毒法・感染症・救急救命(後期)	○循環器系理学療法学(後期)	○生活環境学(前期)	
●数学基礎(前期)	○生理学IV(後期)	○解剖学III(後期)	○理学療法学総合演習I(前期)	○医用画像学概論(後期)	○代謝系および癌理学療法(後期)	○理学療法学総合演習V(前期)	
●生物学基礎(前期)	○解剖学IV(後期)	○理学療法学総合演習II(前期)	○運動療法学(前期)	○薬理学(後期)	●健康増進と予防理学療法(後期)	○理学療法学総合演習VI(後期)	
●化学基礎	○理学療法学総合演習III(後期)	○理学療法学総合演習IV(後期)	○運動療法学演習(前期)	●看護学(後期)	○理学療法学評価学(後期)	○理学療法学評価学臨床実習(後期)	
○物理学基礎(前期)	○理学療法学総合演習V(後期)	○理学療法学総合演習VI(後期)	○理学療法学演習(前期)	○作業療法学(後期)	●医療経営論(後期)	○地域理学療法学臨床実習(後期)	
●英語基礎(前期)	○理学療法学総合演習VII(後期)	○理学療法学総合演習VIII(後期)	○理学療法学演習(後期)	○言語聴覚療法学(後期)	●医療経営論(後期)	○理学療法学評価学(後期)	
●専門的能力の修得	●専門的能力の修得	●専門的能力の修得	●専門的能力の修得	●解剖学実習(後期)	●運動療法学(後期)	●理学療法学評価学(後期)	
○生理学I(前期)	○生理学II(前期)	○生理学III(前期)	○解剖学I(前期)	○理学療法学演習(前期)	○理学療法学評価学(後期)	●理学療法学評価学(後期)	
○解剖学I(前期)	○リハビリテーション概論(前期)	○生理学IV(後期)	○理学療法学演習(前期)	○理学療法学評価学(後期)	●運動療法学(後期)	●理学療法学評価学(後期)	
○理学療法学(後期)	○理学療法学総合演習I(前期)	○理学療法学評価学(後期)	○運動療法学(後期)	●理学療法学評価学(後期)	●理学療法学評価学(後期)	●理学療法学評価学(後期)	
○運動学(後期)	○理学療法学総合演習II(前期)	○理学療法学評価学(後期)	○理学療法学評価学(後期)	●理学療法学評価学(後期)	●理学療法学評価学(後期)	●理学療法学評価学(後期)	
○医学概論(後期)	○理学療法学総合演習III(前期)	○理学療法学評価学(後期)	○理学療法学評価学(後期)	●理学療法学評価学(後期)	●理学療法学評価学(後期)	●理学療法学評価学(後期)	
○公衆衛生学(後期)	○理学療法学総合演習IV(後期)	○理学療法学評価学(後期)	○理学療法学評価学(後期)	●理学療法学評価学(後期)	●理学療法学評価学(後期)	●理学療法学評価学(後期)	
●専門的能力の修得	●専門的能力の修得	●専門的能力の修得	●専門的能力の修得	●理学療法学評価学(後期)	●理学療法学評価学(後期)	●理学療法学評価学(後期)	
○基礎理学療法学(前期)	○表面解剖と触診法(前期)	○理学療法学評価学(後期)	○理学療法学評価学(後期)	●理学療法学評価学(後期)	●理学療法学評価学(後期)	●理学療法学評価学(後期)	
○日常活動学(前期)	○理学療法学評価学(後期)	○理学療法学評価学(後期)	○理学療法学評価学(後期)	●理学療法学評価学(後期)	●理学療法学評価学(後期)	●理学療法学評価学(後期)	
○理学療法学評価学(後期)	○理学療法学評価学(後期)	○理学療法学評価学(後期)	○理学療法学評価学(後期)	●理学療法学評価学(後期)	●理学療法学評価学(後期)	●理学療法学評価学(後期)	
●国際研修	●ボランティア活動	●ボランティア活動	●ボランティア活動	●ボランティア活動	●ボランティア活動	●ボランティア活動	



シラバス検索

カリキュラム

1年次

基礎学力を身につけながら、人体の構造と機能について学び、専門職を目指す意識を高めます。

2年次

医学的知識の内科・神経内科・整形外科など様々な疾病の病態と治療、回復過程を学ぶ科目が配されています。

3年次

リハビリテーション領域における医療従事者として必要な知識を修得します。

4年次

臨床実習では指導者ののもと、実際に治療を体験し、医療従事者として必要な技術を修得します。

1年次

2年次

3年次

4年次

基礎

専門基礎

専門

専門

○は必修科目 / ●は選択科目

※カリキュラムは2025年4月現在のものであります。変更の可能性があります。

Pick up 授業

スポーツ理学療法学

受傷した肩関節、肘関節および膝関節について、レントゲン所見などの画像診断や手術療法(術式など)についての理解を促し、理学療法を行うに欠かせない関節運動学を学びます。



循環器系理学療法学

心機能障害、心筋虚血、不整脈や運動耐容能の評価結果から、患者に最適な運動の形態、強度・時間・頻度・期間を設定し、安全に運動療法を実践できる能力を獲得します。



実習レポート

保健医療学部 リハビリテーション学科 理学療法学専攻 4年 椎名 はるかさん 群馬県立館林女子高等学校出身

実習での経験が、国家試験問題の理解の助けになった。

実習前は、緊張と不安でいっぱいでしたが、実際に患者さんと向き合うことで、授業だけでは得られない対応の方法を学ぶことができ、実りある臨床実習となりました。実習後に国家試験問題を解いてみると、実習で経験したことが問題を理解する上で役立っていることを実感。今まででは難しいと感じていた疾患の病態や治療方法への理解を深めることができました。

主な実習先

さいたま記念病院/三愛病院/武蔵野台病院/関町病院/中田病院/苑田第一・第三病院/丸山記念総合病院/リハビリテーション天草病院/西武川越病院/自治医科大学附属さいたま医療センター/公立館林厚生病院/霞ヶ関南病院/富家病院/藤村病院/さいたま市民医療センター/埼玉県小児医療センター/大久保病院/東京都リハビリテーション病院/茨城リハビリテーション病院/つくば医療センター/つくば市立病院/埼玉県済生会加須病院/秀和総合病院/新久喜総合病院/八潮中央総合病院/イムス板橋リハビリテーション病院/春日部中央総合病院/草加松原リハビリテーション病院/他



先生方のサポートによって勉強が習慣化

保健医療学部 リハビリテーション学科 理学療法学専攻 2年 佐藤 陸斗さん

埼玉県立大宮東高等学校出身

オープンキャンパスの教員面談で、先生方との距離が近く、アットホームな雰囲気の中で学べる環境だと感じたことが、進学の決め手になりました。入学してから自分が成長したと感じるのは、自主的に勉強に取り組むようになったことです。高校時代はバスケットボールに打ち込んで、勉強とは縁遠い生活を送っていましたが、先生方が復習問題を作成してくださったり、効果的な勉強方法のヒントを与えてくださったりするおかげで、勉強が習慣となり、苦に感じるようになりました。面白く、優しく、そして何より学生に寄り添ってくれる先生方のおかげで、どんな疑問点も気軽に質問できるところが、この専攻の大きな魅力だと思います。将来は、患者さんに「生きる希望」や「自立できる希望」を与えられる理学療法士になりたいです。

1週間のスケジュール

	MON	TUE	WED	THU	FRI
1		解剖学実習	運動学		生理学III
2	医療英語	解剖学実習	運動学		医療概論
3	理学療法評価学	解剖学II	公衆衛生学		
4		生理学実習	理学療法学総合演習II		
5		生理学実習			生命倫理

理学療法臨床推論

骨・関節疾患による機能障害や、中枢神経系疾患による片麻痺などの障害に対し、適切に評価して治療プログラムを立案。インフォームドコンセントなど対人関係スキルも学びます。



地域理学療法学

障がい者や高齢者の在宅生活を支援するリハビリテーションサービスを学び、理学療法士の役割と業務を理解します。介護保険制度やケアマネジメントについても学びます。



義肢装具学専攻

保健医療学部 リハビリテーション学科

学士
義肢装具学



Admission Policy

- リハビリテーション及び義肢装具学に関する学びに関心がある人
- 義肢装具士としての専門知識と技能を身につけたいと希望する人
- 他者との協働によって学びを深め、様々な学修経験を通じて自身の成長に努力できる人
- 心身の健康に関心を払い、義肢装具士として社会に貢献したいと希望する人

義肢装具のエキスパートになるために

オックスフォード大学のオズボーン准教授による論文『雇用の未来』での、AIに置き換えない仕事の第7位が「義肢装具士」。患者や障がいのある方々の個別のニーズに応じて義肢装具をデザインし、これを適合させることは、他の医療専門職にない特徴の一つです。国際標準を意識した実践的な学びを通じ、将来、義肢装具のエキスパートとして羽ばたかれる期待をしています。

リハビリテーション学科 義肢装具学専攻 坂井 一浩 教授



義肢装具士 とは？

義肢や装具、福祉用具の提供をとおして、患者さんのがや病気を治療し、体に障害のある方々の日常生活を支える専門家です。義肢装具製作事業所などに勤務すると共に臨床業務に携わります。



「こころ」と「からだ」の仕組みとその関連性を学び、リハビリテーションのプロフェッショナルに。

1 全国に3つしかない
義肢装具養成大学の
うちのひとつ



本学は関東で唯一の義肢装具養成大学。義肢装具分野の専門性だけでなく、優れた医療者に求められるコミュニケーション能力や、社会人基礎力の獲得を目的としたプログラムを提供し、能力と人間力の高い義肢装具士を数多く輩出しています。

2 グローバル社会の進展も
見据えて継続して
自己学修できる能力を育成



義肢装具をはじめとする支援機器は、世界的に必要性が高まっています。そんな中、国際基準に則ったカリキュラムを構築し、世界に通用する義肢装具士の育成を目指しています。

※写真はアメリカシントン大学での国際研修の様子です

3 脳血管障がいで
麻痺のある方々の
装具作りを授業で実践



義肢装具士の役割は、利用者の身体機能や生活の評価に基づいて最適な義肢・装具を提案・製作し適合させること。切断者や下肢に麻痺のある方の協力で、実践的な授業を開講します。

目指す資格

義肢装具士 (国家試験受験資格)

国家試験合格率
88.2%

2024年度実績
全国平均 71.5%

活躍する未来

各種スポーツ用の義手義足や車椅子、繊細な作業得意とするロボットアーム、電子制御によるスムーズな歩行を実現するインテリジェント義足など、最新の義肢装具の研究開発も進められており、義肢装具士の存在が「できる」や「笑顔」のシーンをよりいっそう増やしていくと期待されています。

その他

ISPO認定義肢装具士 ※申請予定
認定心理士

全国初！

全学科で副専攻を活用して
「認定心理士」も取得可能に

義肢装具士 × 認定心理士

義肢装具士は、義肢や装具を提供する技術的な業ですが、患者さんの生活全般にわたるサポートが求められます。身体の一部や機能を失った患者さんは、精神的なダメージを負っていることも多く、認定心理士の資格取得を通して、心理学の基礎知識や技能を持つことにより、患者さんが身体状況を受け入れ、前向きな姿勢で日常生活に戻ることを心理面からもサポートできることが期待されます。

カリキュラム

カリキュラム			
1年次	2年次	3年次	4年次
医学、工学、義肢装具学を学ぶ上で必要な人体の構造や機能、機器や材料、基本的な製作技術などを修得します。	医療専門としてどのような行動や態度が求められるか、学内外での実習をとおして学びます。	疾患や障がいと義肢装具・福祉用具を関連づけて理解すると共に、専門職に求められる行動と態度がとれるようになります。	知識の統合する力や研究リテラシーを身につけると共に、国家試験の合格を確実なものにします。
基礎	基礎	基礎	基礎
コア	コア	コア	コア
○心身健康科学(前期)	○ヒューマンI(前期)	○ヒューマンII(前期)	○ヒューマンIII(前期)
○生命倫理(前期)			
人間の理解	他者との共生	他者との共生	他者との共生
●スポーツと健康(前期)	●医療英語(後期)	●英語文献講読(後期)	●ベトナム語
●心理学(後期)	●ベトナム語	●ベトナム語	●ペトナム語
●美術(後期)	○統計学(前期)	○情報処理演習(前期)	○情報処理演習(前期)
他者との共生	専門的能力の修得	専門的能力の修得	専門的能力の修得
○コミュニケーション演習(前期)	○運動学(前期)	○運動学(前期)	○義手学(前期)
●人間関係論(前期)	○人間発達学(前期)	○人間発達学(前期)	●股義足学(後期)
●法学(前期)	○病理学(前期)	○病理学(前期)	○義肢装具学総合演習II
○コンピューター入門(前期)	○神経内科学(前期)	○神経内科学(前期)	専門的能力の発展
○倫理学(後期)	○整形外科学(前期)	○整形外科学(前期)	○車椅子・シーティング(前期)
●国際文化論(後期)	○リハビリテーション医学I(後期)	○リハビリテーション医学I(後期)	○臨床実習III(前期)
●英会話(後期)	○運動学実習(後期)	○運動学実習(後期)	●小児装具学(前期)
●岩槻の文化とものづくり(後期)	●栄養学(後期)	●栄養学(後期)	●最新の義肢装具・支援機器(前期)
●ベトナム語	○機能解剖学(後期)	○機能解剖学(後期)	○義肢装具技能試験(後期)
専門的能力の基礎	専門的能力の基礎	専門的能力の基礎	○卒業研究
○職業とキャリア形成(前期)	○皮膚科学(後期)	○皮膚科学(後期)	共通科目
○論理的思考と表現法(前期)	○老年医学(後期)	○老年医学(後期)	●国際研修
●数学基礎(前期)	○社会福祉学(後期)	○社会福祉学(後期)	●ボランティア活動
●生物学基礎(前期)	○臨床心理学(後期)	○臨床心理学(後期)	
●物理学基礎(前期)	○公衆衛生学(後期)	○公衆衛生学(後期)	
●英語基礎(前期)	○リハビリテーション医学II(後期)	○リハビリテーション医学II(後期)	
専門的能力の修得	専門的能力の修得	専門的能力の修得	
○生理学I(前期)	○義肢装具基礎演習II(後期)	○義肢装具基礎演習II(後期)	
○生理学II(前期)			
○解剖学I(前期)	専門的能力の発展	専門的能力の発展	
○生理学III(後期)	○義肢装具材料力学(前期)	○義肢装具材料力学(前期)	
○生理学実習(後期)	○機構学(後期)	○機構学(後期)	
○解剖学II(後期)	○人間工学(後期)	○人間工学(後期)	
○解剖学実習			
○医学概論(後期)			
○義肢装具学基礎演習I(後期)			
専門的能力の発展	専門的能力の発展	専門的能力の発展	
○義肢装具材料学(前期)	○フットウェア(後期)	○フットウェア(後期)	
○図学・製図学(後期)	○臨床実習I(後期)	○臨床実習I(後期)	
○機械要素設計(後期)	共通科目	共通科目	
専門的能力の修得	専門的能力の修得	専門的能力の修得	
○義肢装具学概論I(前期)	●看護学(後期)	●看護学(後期)	
○義肢装具学概論II(後期)	○義肢装具基礎演習II(後期)	○義肢装具基礎演習II(後期)	
○義肢装具製作技術入門			
専門的能力の発展	専門的能力の発展	専門的能力の発展	
○見学実習(後期)	○解剖学I(前期)	○解剖学I(前期)	
共通科目	専門的能力の発展	専門的能力の発展	
●国際研修	○義肢装具基礎演習I(後期)	○義肢装具基礎演習I(後期)	
●ボランティア活動	○フットウェア(後期)	○フットウェア(後期)	



シラバス検索

Pick up 授業



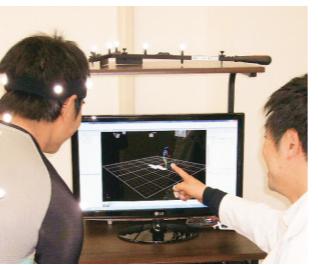
コミュニケーション演習

患者や家族、専門職の人たちと円滑なコミュニケーションをはかることができるよう、グループワークを通して意思の伝え方、相手を理解することの重要性について学びます。



義肢装具製作技術入門

前期に下肢装具、後期に下腿義足を例に挙げ、義肢や装具の基本的な製作方法を学びます。材料の加工方法、工具や機械、部品の取り扱い方など義肢装具製作の基本を身につけます。



運動学実習

人体の動きを理解するために、運動学の基礎知識を習得するとともに、生理学的な制御メカニズムについて学修します。各種機器を使用し、作業・動作分析や歩行分析などを行います。



義足学I

実際に下腿義足を使用している方のご協力いただき、それぞれの学生が採型から適合までを経験します。適合技術だけでなく問題への対応力といった臨床に必要な実践力を身につけるための大切な実習授業です。



実習レポート

保健医療学部 リハビリテーション学科 義肢装具学専攻 4年 渡辺 凜さん 細田学園高等学校出身
使う人の背景まで考慮した
製品デザインの重要性を学んだ。

これまで抱いていた疑問点を、現場での経験や指導者の考え方を教えていただくことで、理解を深めることができました。特に印象深いのは、製品のデザインは、使う人の年齢や身体機能だけでなく、人間関係や職場環境などによっても変える必要があり、意図を持って作製することが大切だということ。この実習経験を活かし、さらに知識を深め、技術を磨いていきたいです。

主な実習先

株式会社幸和義肢研究所／株式会社東亜義肢／東名ブレース株式会社／有限会社浦和義肢製作所／株式会社y-brace／有限会社内藤義肢製作所／株式会社武内義肢製作所／有限会社北信義肢／川村義肢株式会社／三浦医工デザイン株式会社／株式会社田沢製作所／日本義手足製作所／有限会社長野製作所／福岡義肢製作所／他



解剖学実習をきっかけに 芽生えた新たな視点

保健医療学部 リハビリテーション学科 義肢装具学専攻 2年 新井 里桜さん
松戸市立松戸高等学校出身

一人暮らしをせずに四年制大学で義肢装具士について学べる学校を探していたところ、人間総合科学大学を見つけ、志望しました。特にスポーツ義足に興味を持っていたため、運動学を学びたいと考えていました。この大学は先生との距離が近く、気軽に相談できるところが魅力です。学科の授業で最も印象に残っているのは、解剖学実習で人間の骨を見ながら絵を描いたことです。こうした経験を通して、街中で義足や装具を着けている方や特殊な車いすを使用している方を見かけると、その方がどのような状況なのか想像するようになりました。キャンパス内では図書館がお気に入りで、静かな環境で集中して勉強したい時に利用しています。現時点で将来の進路は明確ではありませんが、義肢装具士としてスポーツに関わる仕事を就きたいと考えています。

STUDENT'S VOICE

学費・入学会

■ 健康栄養学科

内訳		1年次		2年次以降	
納期		前期	後期	前期	後期
入学料	300,000	—	—	—	—
学費	授業料	475,000	475,000	475,000	475,000
	実験・実習費	80,000	80,000	105,000	105,000
	施設維持費	125,000	125,000	125,000	125,000
	合計	980,000	680,000	705,000	705,000

※その他別途、教科書代・白衣代・校友会費(終身会費)・保険料などが必要となります。

■ ヘルスフードサイエンス学科

内訳		1年次		2年次以降	
納期		前期	後期	前期	後期
入学料	300,000	—	—	—	—
学費	授業料	475,000	475,000	475,000	475,000
	実験・実習費	80,000	80,000	80,000	80,000
	施設維持費	125,000	125,000	125,000	125,000
	合計	980,000	680,000	680,000	680,000

※その他別途、教科書代・白衣代・校友会費(終身会費)・保険料などが必要となります。

■ 看護学科

内訳		1年次		2年次以降	
納期		前期	後期	前期	後期
入学料	300,000	—	—	—	—
学費	授業料	505,000	505,000	505,000	505,000
	実験・実習費	150,000	150,000	200,000	200,000
	施設維持費	115,000	115,000	115,000	115,000
	合計	1,070,000	770,000	820,000	820,000

※その他別途、教科書代・白衣代・校友会費(終身会費)・保険料などが必要となります。※3年進級時に保健師養成課程の選択が決定した者については、保健師養成課程選択料(追加の実験・実習費)が必要になります。

■ リハビリテーション学科(理学療法学専攻)

内訳		1年次		2年次以降	
納期		前期	後期	前期	後期
入学料	300,000	—	—	—	—
学費	授業料	505,000	505,000	505,000	505,000
	実験・実習費	100,000	100,000	200,000	200,000
	施設維持費	115,000	115,000	115,000	115,000
	合計	1,020,000	720,000	820,000	820,000

※その他別途、教科書代・白衣代・校友会費(終身会費)・保険料などが必要となります。

■ リハビリテーション学科(義肢装具学専攻)

内訳		1年次		2年次以降	
納期		前期	後期	前期	後期
入学料	300,000	—	—	—	—
学費	授業料	505,000	505,000	505,000	505,000
	実験・実習費	200,000	200,000	225,000	225,000
	施設維持費	110,000	110,000	110,000	110,000
	合計	1,115,000	815,000	840,000	840,000

※その他別途、教科書代・白衣代・校友会費(終身会費)・保険料などが必要となります。

全学科共通補足事項

- 1年次前期の学費は、入学料とともに入学手続時に一括納入してください。
- 上記の他に校友会費(終身会員)30,000円を入学手続後に納入してください。
- 校外での臨地実習および臨床実習の際は、学費の「実験・実習費」とは別途費用が必要となります。
- 詳細は各学科・専攻において臨地実習および臨床実習に該当する学年でお知らせいたします。
- 1年次後期以降の授業料などの納入金は預金口座から自動振替となります。詳しくは入学後にご案内いたします。

※心身健康科学科(通信制)の学費や奨学金等については通信制の募集要項もしくはホームページにてご確認ください。

人間総合科学大学 独自奨学金制度

人間総合科学大学では、経済的理由によって修学が困難な学生のために、学生の学びの気持ちをサポートするための独自の奨学金制度を用意しています。

■ スカラシップ選抜奨学金

人間総合科学大学では、本学の建学の精神を理解し、入学時の成績が特に優秀な者を対象に、経済的負担を軽減するため、奨学金を給付する独自の奨学金制度を用意しています。スカラシップ選抜受験者全体を対象とし、受験者の試験結果上位10～20%の者を給費生または準給費生として採用します。給費生・準給費生に採用されなかった場合でも、一般選抜合格者と同等もしくはそれ以上の学力があると認められた受験生は一般合格となります(合格発表日および入学手続締切日はスカラシップ選抜と同日程)。

給費生種別	給付額
給費生	健康栄養学科 475,000円
	ヘルスフードサイエンス学科 475,000円
	看護学科 505,000円
	リハビリテーション学科 理学療法学専攻 505,000円
准給費生	入学金の半額相当 全学科・専攻共通 150,000円

※出願するだけで、特別な手続きは不要です。

■ 病院奨学生推薦型選抜

※看護学科・リハビリテーション学科理学療法学専攻のみ対象

人間総合科学大学の実習病院等に看護師または理学療法士として従業する意思のある者を対象とした推薦入試で、家庭の経済状況や遠方からの入学による一人暮らしの費用等を負担軽減することを目的とし、かつ、就職活動に時間を取られることなく4年間の学業に専念することを期した入試制度です。対象の実習病院等において、奨学生としての採用を受け、所定の条件を満たした方が出願できます。

対象の実習病院等やその詳細はホームページよりご確認ください。●<https://www.human.ac.jp/ad/examination/recommendation/index.html#anchor>

※各病院の奨学生には採用人数の定員があり、募集が早期に締め切られる場合があります。※奨学生制度の詳細は必ず各病院に直接確認をしてください。



■ 人間総合科学大学成績優秀者奨学金

対象	給付金額	給付期間	採用人数
在学生 各年度 成績優秀者	年額100,000円	1年間(1回)	ヘルスフードサイエンス学科 3名以内
			健康栄養学科 3名以内
保健医療学部			看護学科 3名以内
			リハビリテーション学科 3名以内

■ ファミリー給付奨学金

本学の建学の精神を深く理解し、本学の理念に賛同する在学生および卒業生の方々について、その子弟・子女あるいは兄弟姉妹の方が本学入学の強い希望がある場合に、その方を対象とする給付奨学金です。他の学生たちへの理念の波及や学生生活の活性化に寄与することを期待します。

※本学には前身である「早稲田医療専門学校」「早稲田医療技術専門学校」「早稲田鍼灸専門学校」「人間総合科学大学鍼灸医療専門学校」も含みます。

(1) 対象となる選抜方法

- ①総合型選抜事前エントリー方式および適性試験方式
- ②学校推薦型選抜(指定校推薦および病院奨学生推薦を含む)

(2) 提出書類

※願書とともに以下の書類を同封して希望する入試方式の出願期間内に郵送または持参にて提出してください

- ・食のアイデアコンテスト最優秀賞・優秀賞・もしくは特別賞の賞状のコピー(受賞した年度は問いません)

(3) 給付金額

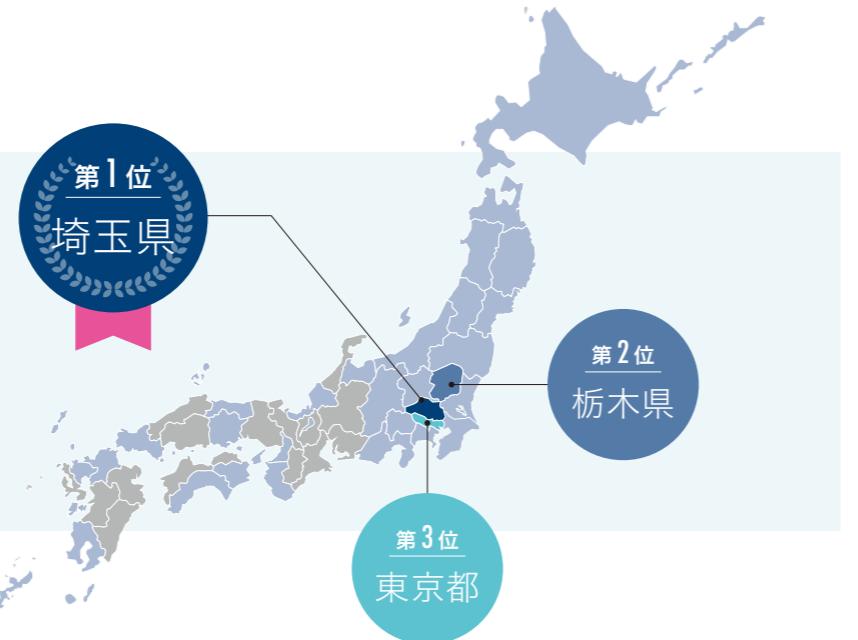
- ・入学金の一部免除(入学後の4月以降に100,000円還付)



そのほかの奨学金制度についてはホームページよりご確認ください。▶ <https://www.human.ac.jp/admission/expenses/#scholarship>

出身高校一覧

全国各地の多様な学校から集まった学生たちが、互いに切磋琢磨しながら学び、成長しています。それぞれの背景や経験を持つ仲間との交流は、大学生活をさらに豊かにします。多彩な地域性が感じられる環境の中で、新たな刺激や可能性を見つめましょう。



● 北海道 クラーク記念国際高等学校 札幌東陵高等学校	宇都宮短期大学附属高等学校 宇都宮中央女子高等学校 宇都宮南高等学校 宇都宮白楊高等学校 宇都宮文星女子高等学校 宇都宮北高等学校 小山城南高等学校 小山西高等学校 小山南高等学校 大田原女子高等学校 鹿沼高等学校 鹿沼東高等学校 烏山高等学校 上三川高等学校 國學院大學桜木高等学校 作新学院高等学校 さくら清修高等学校 佐野松桜高等学校 佐野清澄高等学校 佐野東高等学校 青藍泰斗高等学校 高根沢高等学校 桜木工業高等学校 桜木商業高等学校 桜木農業高等学校 桜木翔南高等学校 那須拓陽高等学校 日夕輝学園高等学校 白鷗大学足利高等学校 茂木高等学校 壬生高等学校 矢板高等学校	浦和学院高等学校 浦和北高等学校 浦和実業学園高等学校 浦和東高等学校 浦和南高等学校 浦和麗明高等学校 東京成徳大学深谷高等学校 東京農業大学第三高等学校 東野高等学校 戸田翔陽高等学校 栄北高等学校 叡明高等学校 大妻嵐山高等学校 豊岡高等学校 南陵高等学校 大宮工業高等学校 大宮商業高等学校 大宮中央高等学校 大宮東高等学校 大宮南高等学校 大宮武蔵野高等学校 桶川高等学校 春日部共栄高等学校 春日部工業高等学校 春日部高等学校 春日部東高等学校 川口工業高等学校 川口高等学校 川口市立高等学校 川口青陵高等学校 川口東高等学校 川越初雁高等学校 川越総合高等学校 久喜工業高等学校 久喜高等学校 久喜北陽高等学校 熊谷商業高等学校 熊谷女子高等学校 熊谷農業高等学校 大泉高等学校 太田女子高等学校 関東学園大学附属高等学校 桐生第一高等学校 ぐんま国際アカデミー高等学校 高崎健康福祉大学高崎高等学校 下妻第二高等学校 第一学院高等学校 つくば開成高等学校 つくば秀英高等学校 土浦第三高等学校 常磐大学高等学校 取手第一高等学校 古河第一高等学校 古河第二高等学校 水海道第二常磐大学高等学校 茗溪学園高等学校 守谷高等学校 ルネサンス高等学校 EIKOデジタル・クリエイティブ高等学校		
● 青森県 大湊高等学校 向陵高等学校 五所川原高等学校 八戸西高等学校 弘前学院聖愛高等学校		志学館高等部 芝浦工業大学附属高等学校 自由学園高等科 淑徳高等学校 東京農業大学第三高等学校 東野高等学校 戸田翔陽高等学校 星美学園高等学校 立成学園高等学校 専修大学附属高等学校 灘野川女子学園高等学校 帝京八王子高等学校 貞静学園高等学校 東京大学教育学部附属高等学校 東京立正高等学校 東久留米総合高等学校 東星学園高等学校 東洋女子高等学校 深谷高等学校 日本音楽高等学校 富士見高等学校 日本工業大学駒場高等学校 日本体育大学荏原高等学校 日本大学豊山高等学校 農芸高等学校 富士高等学校 湘江高等学校 堀越高等学校 瑞穂農芸高等学校 明星高等学校 武蔵野高等学校 八潮高等学校 山村学園高等学校 明法高等学校		
● 岩手県 盛岡第二高等学校		日本航空高等学校		
● 宮城県 飛鳥未来きずな高等学校 大崎中央高等学校 東北高等学校 宮城野高等学校		● 長野県 上田西高等学校 大町岳陽高等学校 下伊那農業高等学校 野沢南高等学校 文化学園長野高等学校 丸子修学館高等学校		
● 秋田県 大館桂桜高等学校 聖雪学園高等学校		● 静岡県 聖隸クリスマスアート高等学校 東海大学付属静岡翔洋高等学校 富士宮東高等学校		
● 山形県 米沢商業高等学校		● 大阪府 大阪商業大学堺高等学校 大谷高等学校		
● 福島県 会津津風高等学校 白河高等学校 福島工業高等学校 福島成蹊高等学校 ふたば未来学園高等学校 湯本高等学校		● 和歌山県 和歌山南陵高等学校		
● 群馬県 伊勢崎興陽高等学校 伊勢崎商業高等学校 板倉高等学校		● 鳥取県 鳥取城北高等学校		
● 千葉県 あすさ第一高等学校 市川東高等学校 市川南高等学校 志学館高等部 越ヶ谷高等学校 越谷総合技術高校 越谷西高等学校 越谷東高等学校 埼玉平成高等学校 坂戸高等学校 東葉高等学校 流山おおつかの森高等学校 野田中央高等学校 船橋高等学校 志学会高等学校 志木高等学校 自由の森学園高等学校 秀明英光高等学校 松栄学園高等学校 昌平高等学校 庄和高等学校 白岡高等学校 進修館高等学校 杉戸高等学校 大島海洋国際高等学校 科学技術学園高等学校 共栄学園高等学校 桐ヶ丘高等学校 誠と福祉高等学校 草加高等学校 草加西高等学校		● 岡山県 鹿島朝日高等学校		
● 茨城県 伊奈高等学校 岩瀬日本大学高等学校 鬼怒商業高等学校 鹿島学園高等学校 境高等学校 佐和高等学校 下妻第二高等学校 下妻第一高等学校 第一学院高等学校 つくば開成高等学校 つくば秀英高等学校 土浦第三高等学校 常磐大学高等学校 取手第一高等学校 古河第一高等学校 古河第二高等学校 水海道第二常磐大学高等学校 茗溪学園高等学校 守谷高等学校 ルネサンス高等学校 EIKOデジタル・クリエイティブ高等学校		● 神奈川県 厚木西高等学校 関東学院六浦高等学校 岸根高等学校 城山高等学校 鶴見大学附属高等学校 白鷗女子高等学校 光美 VERITAS 高等学校 柏中央高等学校 木更津総合高等学校 西武千葉高等学校 千葉南高等学校 中央国際高等学校 館林女子高等学校 館林商工高等学校 樹徳高等学校 常磐高等学校 東京農業大学第二高等学校 前橋育英高等学校 明和県央高等学校		● 福島県 門司大翔館高等学校
● 埼玉県 秩父学園高等学校 上尾高等学校 上尾鷺の台高等学校 上尾南高等学校 朝霞西高等学校 いずみ高等学校 伊奈学園総合高等学校 入間向陽高等学校 岩槻高等学校 岩槻商業高等学校 岩槻北陵高等学校		● 新潟県 加茂晓星高等学校 佐渡高等学校 高田北城高等学校 中越高等学校 船橋高等学校 船橋芝山高等学校 志木高等学校 ヒューマンキャンパスのぞみ高等学校 自由の森学園高等学校 秀明英光高等学校 松栄学園高等学校 昌平高等学校 庄和高等学校 白岡高等学校 進修館高等学校 杉戸高等学校 大島海洋国際高等学校 科学技術学園高等学校 共栄学園高等学校 桐ヶ丘高等学校 誠と福祉高等学校 草加高等学校 駒澤大学高等学校		● 佐賀県 弘学館高等学校
● 東京都 足立新田高等学校 板橋有徳高等学校 上野高等学校 大島洋海国際高等学校 正智深谷高等学校 科学技術学園高等学校 共栄学園高等学校 桐ヶ丘高等学校 誠と福祉高等学校 草加高等学校 駒澤大学高等学校		● 鹿児島県 屋久島おおぞら高等学校 与論高等学校		● 沖縄県 つくば開成国際高等学校 西原高等学校 ヒューマンキャンパス高等学校 N高等学校
● 富山県 市川高等学校 甲府城西高等学校 甲府駒澤高等学校 市川高等学園高等学校 岩槻高等学校 岩槻商業高等学校 岩槻北陵高等学校		● 富山県 片山学園高等学校		● 山梨県 市川高等学校 甲府城西高等学校 自然学園高等学校
● 福井県 足利清風高等学校 足利短期大学附属高等学校 今市高等学校 宇都宮商業高等学校 宇都宮清陵高等学校		● 福井県 啓新高等学校		

※過去3年分を掲載

Homepage

毎日投稿中！

Instagram



大学の学びやキャンパスライフなどを毎日発信しています。

@uhasj2000



学生の今を発信する公式ブログ

UHASウォッチ



大学の学びやキャンパスライフなどを学生や職員がお届けするブログです。授業風景や学内の普段の様子など、リアルな声をたくさん紹介していますので、ぜひチェックしてみてください。

<https://blog.human.ac.jp/>

役立つ情報が満載です！

入試情報が分かる

受験生応援サイト



人間総合科学大学を志望する受験生のためのサイトです。オープンキャンパスの日程、募集要項、WEB出願、各学部の詳細や学費・奨学金制度など入試に関わる全ての内容を網羅しています。

<https://www.human.ac.jp/ad/>



LINE登録 [@uhas](https://line.me/R/ti/p/@uhas)

お友達登録しておくと、オープンキャンパスや入試情報が届きます。



模擬授業も受講可能！(録画授業)

LINE個別相談・Web個別相談 実施中！

(平日10:00 ~ 17:00)



蓮田キャンパス

〒339-8539 埼玉県さいたま市岩槻区馬込1288

TEL.048-749-6111 FAX.048-749-6110

人間科学部

健康栄養学科／ヘルスフードサイエンス学科／

心身健康科学科(通学課程、認可申請中) (通信教育課程)

大学院:人間総合科学研究科

心身健康科学専攻(通信制)／健康栄養科学専攻

JR宇都宮線蓮田駅東口から徒歩13分

蓮田駅への所要時間

大宮から10分／上野から36分／池袋から37分／東京から42分／新宿から42分／川崎から62分／横浜から68分／

羽田空港から82分／宇都宮から70分／高崎から88分

岩槻キャンパス

〒339-8555

埼玉県さいたま市岩槻区太田字新正寺曲輪354-3

TEL.048-758-7111 FAX.048-758-7110

保健医療学部

看護学科／

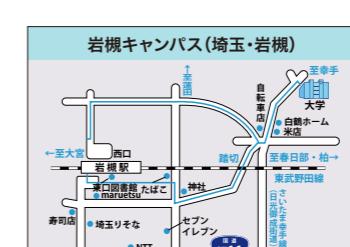
リハビリテーション学科(理学療法学専攻・義肢装具学専攻)

東武アーバンパークライン(東武野田線)岩槻駅から徒歩14分／または朝日バス(国立東埼玉病院行)バス利用7分

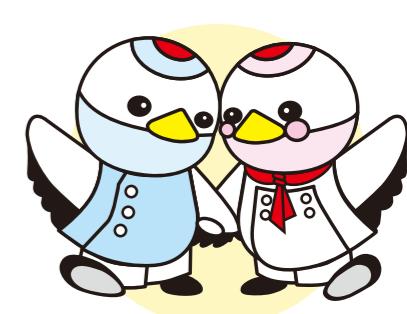
岩槻駅への所要時間

大宮から12分／上野から51分／池袋から42分／東京から57分／新宿から47分／柏から51分／春日部から6分／

川崎から74分／横浜から83分／船橋から79分／高崎から103分／渋谷駅から55分／赤羽から37分／宇都宮から90分



公式キャラクター



つるまる・つるこ®